

2022 年度

シラバス



century college
KANAZAWA REHABILITATION ACADEMY

専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー

目 次

教育課程	1
理学療法学科	
基礎分野	5
専門基礎分野	11
専門分野	25
作業療法学科	
基礎分野	43
専門基礎分野	49
専門分野	61

教育課程

理学療法学科 【基礎分野・専門基礎分野】

	授業科目	単位	1年		2年		3年	
			前	後	前	後	前	後
			基礎分野	101 情報科学	2	30		
102 心理学	2			30				
103 コミュニケーション学	2	30						
104 ライフスポーツ演習	1	30						
105 生物学	2	30						
106 物理学	2			30				
107 英語	2	30						
108 基礎セミナーⅠ	2	30						
109 基礎セミナーⅡ	2			30				
110 キャリアデザイン学Ⅰ	2				30			
111 キャリアデザイン学Ⅱ	2					30		
合計		21	180	90	30	30	0	0

	授業科目	単位	1年		2年		3年		
			前	後	前	後	前	後	
			専門基礎分野	121 解剖学Ⅰ	2	30			
122 解剖学Ⅱ	2	30							
123 解剖学演習	1	30							
124 解剖学実習	1			45					
125 機能解剖演習	1				30				
126 生理学Ⅰ	2	30							
127 生理学Ⅱ	2			30					
128 生理学実習	1				45				
129 運動学Ⅰ	2			30					
130 運動学Ⅱ	2				30				
131 運動学実習	1					45			
132 発達障害学	2			30					
133 身体機能学Ⅰ	2	30							
134 身体機能学Ⅱ	2			30					
135 病理学	2				30				
136 精神障害学	2					30			
137 神経内科障害学	2				30				
138 骨関節障害学	2				30				
139 医学・医療概説	2			30					
140 外科系障害学	2				30				
141 内科系障害学	2					30			
142 身体機能障害学Ⅰ	2				30				
143 身体機能障害学Ⅱ	2					30			
144 リハビリテーション概論	2	30							
145 リハビリテーション医学	2			30					
合計		45		180	225	255	135	0	0

理学療法学科 【専門分野】

	授業科目	単位	1年		2年		3年		
			前	後	前	後	前	後	
専門分野	基礎理学療法学	151 理学療法概論	2	30					
		152 基礎理学療法学Ⅰ	2	30					
		153 基礎理学療法学Ⅱ	2		30				
		154 研究方法論	2						30
	理学療法管理学	155 理学療法管理学	2				30		
	理学療法評価学	156 理学療法評価学Ⅰ	2	30					
		157 理学療法評価学Ⅱ	2		30				
		158 理学療法評価学Ⅲ	2			30			
		159 理学療法評価学演習	1				30		
		160 理学療法評価学実習Ⅰ	1		45				
		161 理学療法評価学実習Ⅱ	1			45			
		162 理学療法評価学実習Ⅲ	1				45		
	理学療法治療学	163 運動療法学	2		30				
		164 物理療法学	2			30			
		165 物理療法学実習	1				45		
		166 義肢装具学	2			30			
		167 義肢装具学実習	1				45		
		168 日常生活技術学	2		30				
		169 日常生活技術学実習	1			45			
		170 理学療法治療学各論Ⅰ	2		30				
		171 理学療法治療学各論Ⅱ	2			30			
		172 理学療法治療学各論Ⅲ	2			30			
		173 理学療法治療学各論Ⅳ	2				30		
		174 理学療法治療学各論Ⅴ	2				30		
		175 理学療法治療学実習	1				45		
		176 理学療法治療技術学Ⅰ	4						60
	177 理学療法治療技術学Ⅱ	4						60	
	178 理学療法治療技術学Ⅲ	4						60	
地域理学療法学	179 地域理学療法学Ⅰ	2		30					
	180 地域理学療法学Ⅱ	2			30				
臨床実習	181 基礎理学療法学臨床実習	1				45			
	182 理学療法評価学臨床実習	4				180			
	183 理学療法総合臨床実習Ⅰ	7					315		
	184 理学療法総合臨床実習Ⅱ	7					315		
	185 地域理学療法学臨床実習	1						45	
合計		78	90	225	270	525	630	255	

作業療法学科 【基礎分野・専門基礎分野】

	授業科目	単位	1年		2年		3年	
			前	後	前	後	前	後
			基礎分野	301 情報科学	2	30		
302 心理学	2			30				
303 コミュニケーション学	2	30						
304 ライフスポーツ演習	1	30						
305 生物学	2	30						
306 物理学	2			30				
307 英語	2	30						
308 基礎セミナーⅠ	2	30						
309 基礎セミナーⅡ	2			30				
310 キャリアデザイン学Ⅰ	2				30			
311 キャリアデザイン学Ⅱ	2					30		
合計		21	180	90	30	30	0	0

	授業科目	単位	1年		2年		3年		
			前	後	前	後	前	後	
			専門基礎分野	321 解剖学Ⅰ	2	30			
322 解剖学Ⅱ	2	30							
323 解剖学演習	1	30							
324 解剖学実習	1			45					
325 機能解剖演習	1				30				
326 生理学Ⅰ	2	30							
327 生理学Ⅱ	2			30					
328 生理学実習	1				45				
329 運動学Ⅰ	2			30					
330 運動学Ⅱ	2				30				
331 発達障害学	2			30					
332 身体機能学Ⅰ	2	30							
333 身体機能学Ⅱ	2			30					
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	334 病理学	2				30			
	335 精神障害学	2					30		
	336 神経内科障害学	2				30			
	337 骨関節障害学	2				30			
	338 医学・医療概説	2			30				
	339 外科系障害学	2				30			
	340 内科系障害学	2					30		
	341 身体機能障害学Ⅰ	2				30			
342 身体機能障害学Ⅱ	2					30			
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	343 リハビリテーション概論	2		30					
	344 リハビリテーション医学	2			30				
合計		44	180	225	255	90	0	0	

作業療法学科 【専門分野】

	授業科目	単位	1年		2年		3年	
			前	後	前	後	前	後
専門分野	基礎作業療法学	351 作業療法概論	2	30				
		352 基礎作業学	2	30				
		353 基礎作業学実習	1		45			
	作業療法管理学	354 作業療法管理学	2		30			
	作業療法評価学	355 作業療法評価学実習Ⅰ	1	45				
		356 作業療法評価学実習Ⅱ	1		45			
		357 作業療法評価学実習Ⅲ	1			45		
		358 日常生活動作学Ⅰ	2		30			
		359 日常生活動作学Ⅱ	2			30		
		360 日常生活動作学実習	1				45	
	作業療法治療学	361 身体障害作業療法学Ⅰ	2		30			
		362 身体障害作業療法学Ⅱ	2			30		
		363 身体障害作業療法学実習	1				45	
		364 精神障害作業療法学	2			30		
		365 精神障害作業療法学実習	1				45	
		366 発達障害作業療法学	2			30		
		367 発達障害作業療法学演習	1				30	
		368 作業療法研究方法論	2					30
		369 作業療法研究方法論演習	1					30
		370 作業療法治療学演習Ⅰ	1	30				
		371 作業療法治療学演習Ⅱ	1		30			
		372 作業療法治療学演習Ⅲ	1			30		
		373 作業療法治療学演習Ⅳ	1				30	
		374 作業療法治療学実習	2				45	
		375 作業療法治療技術学Ⅰ	2					30
		376 作業療法治療技術学Ⅱ	2					30
		377 作業療法治療技術学Ⅲ	2					30
	378 作業療法治療技術学Ⅳ	2					30	
	379 作業療法治療技術学Ⅴ	2					30	
	380 作業療法治療技術学Ⅵ	2					30	
地域作業療法学	381 地域作業療法学Ⅰ	2			30			
	382 地域作業療法学Ⅱ	2				30		
臨床実習	383 基礎作業療法学臨床実習Ⅰ	1		45				
	384 基礎作業療法学臨床実習Ⅱ	2				90		
	385 作業療法評価学臨床実習	5				225		
	386 作業療法総合臨床実習Ⅰ	7					315	
	387 作業療法総合臨床実習Ⅱ	7					315	
合計		73	135	255	225	585	660	210

理学療法学科

基礎分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
101	情報科学	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート		

【講義目的・内容・計画】

情報についてのマナーを知り、情報を活用するために必要な情報収集と判断・処理する力、情報をまとめる力（Word・Power Point・Excelを用いた作成）、情報を発信する力を身につける。また、レポート作成方法についても学ぶ。

【講義内容】

- 1 情報を得るための環境づくり
- 2 情報リテラシー①
- 3 情報リテラシー②
- 4 Microsoft Word 使用方法
- 5 レポート作成と提出方法
- 6 情報収集の方法①
- 7 情報収集の方法②
- 8 情報収集の方法③
- 9 ICTを活用したグループワークの方法
- 10 Microsoft PowerPoint の使用方法
- 11 グループワーク①
- 12 グループワーク②
- 13 プレゼンテーション
- 14 情報共有の仕方
- 15 情報収集の実践

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
102	心理学	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

将来、対人援助職につく上で必要となる心理学的知見と臨床心理学的技法を学ぶ。

【講義内容】

- 1 精神分析①
- 2 精神分析②
- 3 クライアント中心療法
- 4 フォーカシング
- 5 認知行動療法
- 6 マイクロカウンセリング
- 7 心理検査
- 8 学習
- 9 記憶
- 10 思考
- 11 パーソナリティ
- 12 ストレス
- 13 発達
- 14 コミュニケーション
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
103	コミュニケーション学	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

社会人・医療人として「人と生きる」ために必要不可欠なコミュニケーションスキルについて学ぶ。チーム医療を実践するための視野の拡大と洞察力、傾聴・共感する能力、相手の立場で物事を推察する能力、継続しやり遂げる能力等を身につける。

【講義内容】

- 1 「他己紹介」
- 2 「コミュニケーションとは？」
- 3 「必要とされる」人材
- 4 医療に欠かせない「接遇」
- 5 「マナーの重要性」
- 6 コミュニケーション①
- 7 コミュニケーション②
- 8 コミュニケーション③
- 9 コミュニケーション④
- 10 コミュニケーション⑤
- 11 コミュニケーション⑥
- 12 コミュニケーション⑦
- 13 コミュニケーション⑧
- 14 自我状態を知る
- 15 総括

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
104	ライフスポーツ演習	1年 前期	外部有識者・理学療法士・作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート		

【講義目的・内容・計画】

障がいのある方たちがレクリエーションとして楽しみ、時には、アスリートとして競い合う様々な「スポーツ」があることを知り、理学療法士としての支援を学ぶ。

【講義内容】

- 1 障がい者のスポーツとは・様々なスポーツの紹介
- 2 障がい者スポーツ体験①
- 3 障がい者スポーツ体験②
- 4 障がい者スポーツ体験③
- 5 障がい者スポーツ体験④
- 6 障がい者スポーツ体験⑤
- 7 障がい者スポーツ体験⑥
- 8 障がい者スポーツ体験⑦
- 9 障がい者のスポーツ支援（歴史）
- 10 障がい者のスポーツ支援（障がい者スポーツの意義）
- 11 障がい者のスポーツ支援（求められる支援について考える）
- 12 障がい者のスポーツ支援（PT・OTの役割）
- 13 障がい者のスポーツ支援（PT・OTとしての障がい者スポーツとのかかわり）
- 14 車椅子バスケットボール①
- 15 車椅子バスケットボール②

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
105	生物学	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

分子から細胞へ、そして細胞から個体へとつながりをもって学び、ヒトの体の構造・働きを理解する

【講義内容】

- 1 細胞の基本的な構造と機能
- 2 細胞周期と細胞分裂
- 3 細胞死の種類とその基本的なメカニズム
- 4 アミノ酸とタンパク質の構造と機能
- 5 糖質の構造と機能
- 6 脂質の構造と機能
- 7 骨・関節のしくみ
- 8 骨格筋のしくみ
- 9 神経のしくみ
- 10 呼吸器のしくみ
- 11 循環器のしくみ
- 12 消化器のしくみ
- 13 内臓器のしくみ①
- 14 内臓器のしくみ②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
106	物理学	1年 後期	理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

私たちの身の回りに存在する「なぜ？」を物理学の視点で学び、身体にどういった影響を与えているのかを理解する。

【講義内容】

- 1 身の回りの現象（光・音）
- 2 身の回りの現象（力）
- 3 静電気と電流
- 4 電流の性質
- 5 電流と磁界
- 6 物体の運動
- 7 力のはたらき方
- 8 エネルギーと仕事
- 9 熱の作用
- 10 水の作用
- 11 光線の作用
- 12 電気の作用
- 13 物理と理学療法①
- 14 物理と理学療法②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
107	英語	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	attitude、20% listening comprehension test, 80% written examination		

【講義目的・内容・計画】

This course will provide students with preparatory skills for everyday medical and social communication in English It will be achieved through self-expression by the students in a classroom atmosphere

【講義内容】

- 1 Introduction of self in asocial and formal situation
- 2 Introduction in medico - social situation
- 3 Written registration format and signature practice
- 4 Departure procedure from friends and acquaintances, How to address an envelope for foreign Correspondence
- 5 Terms for internal organs/lay terms for body parts
- 6 Introduction to phonics
- 7 Review
- 8 Lay terms for bones of the skeleton
- 9 Medical terms for bones of skeleton
- 10 Medical and lay terms for skeleton(continued)
- 11 Lay terms and medical terms for joint motion
- 12 Pair practice to conduct a basic medical interview
- 13 Orientation for foreign travel to a medical institute
- 14 Conversation at a medical institute
- 15 Review

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
108	基礎セミナーⅠ	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、ワーク参加状況、レポート		

【講義目的・内容・計画】

職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な「社会人基礎力」について理解する。資格取得を目指す上での「情意」を理解し、日々の行動として定着化することを重点目標とする

【講義内容】

- 1 「社会人」・「専門学校生」とは
- 2 「働く」・「学ぶ・学び続ける」ということ
- 3 「社会人基礎力」について知る
- 4 「前に踏み出す力（アクション）」について考える
- 5 「考え抜く力（シンキング）」について考える
- 6 「チームで働く力（チームワーク）」について考える
- 7 自分の「社会人基礎力」について考える①
- 8 「社会人基礎力」振り返り：PT・OTに求められる力について考える
- 9 チームで働く力（チームワーク） チームで連携する①
- 10 チームで働く力（チームワーク） チームで連携する②
- 11 チームで働く力（チームワーク） チームで連携する③
- 12 チームで働く力（チームワーク） チームで連携する④
- 13 チームで働く力（チームワーク） チームで連携する⑤
- 14 自分の「社会人基礎力」について考える②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
109	基礎セミナーⅡ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、ワーク参加状況、レポート		

【講義目的・内容・計画】

社会人・医療人としての「理学療法士」に求められる力について考えを深め、自身の将来像を形成していく。

【講義内容】

- 1 「社会人基礎力」振り返り
- 2 「理学療法士」の臨床現場を知る① 2年生に聞く
- 3 「理学療法士」に求められる力について考える① 「前に踏み出す力（アクション）」
- 4 「理学療法士」に求められる力について考える② 「考え抜く力（シンキング）」
- 5 「理学療法士」に求められる力について考える③ 「チームで働く力（チームワーク）」
- 6 私が理学療法士として「働くということ」
- 7 「作業療法士（作業療法）」とは
- 8 「理学療法士」「作業療法士」の協働を考える
- 9 「理学療法士」の臨床現場を知る① 3年生に聞く
- 10 「理学療法士」の臨床現場を知る② 卒業生に聞く
- 11 「理学療法士」の職場を知る：病院調べ
- 12 「理学療法士」に求められる力について考える④ 「チームで働く力（チームワーク）」
- 13 「理学療法士」に求められる力について考える⑤ 「チームで働く力（チームワーク）」
- 14 「理学療法士」に求められる力について考える⑥ 「チームで働く力（チームワーク）」
- 15 まとめ：「理学療法士」の就職の現状

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
110	キャリアデザイン学Ⅰ	2年 前期	理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度、ワーク参加状況、レポート		

【講義目的・内容・計画】

社会人として身に着けるべき所作・マナーや行動の際に求められることを理解し、実践できるようになる。そして「自己分析」を通して行動の目標を定め、自分の「キャリアデザイン」につなげる。

【講義内容】

- 1 社会人として身に着けるべき所作・マナーとは
- 2 社会人としての所作・マナー① 電話をかける
- 3 社会人としての所作・マナー② 手紙を書く：連絡文章作成の基本
- 4 社会人としての所作・マナー③ ハガキを書く
- 5 社会人としての所作・マナー④ メールを送る
- 6 社会人としての所作・マナー⑤ 文章を読む・書く力
- 7 社会人としての所作・マナー⑥ 文章を読む・書く力
- 8 社会人としての所作・マナー⑦ 面接を受ける
- 9 自己分析・他己分析①
- 10 自己分析・他己分析②（ジョハリの窓）
- 11 行動目標「やりたいこと（希望・理想）」「やれること（能力・技能）」「やるべきこと」
- 12 「自己ピーアール」①
- 13 社会人としての所作・マナー⑧ 模擬面接
- 14 社会人としての所作・マナー⑨ 模擬面接
- 15 社会人としての所作・マナー⑩ 模擬面接

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
111	キャリアデザイン学Ⅱ	2年 後期	理学療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度、ワーク参加状況、レポート		

【講義目的・内容・計画】

自分の「理学療法士」としてのキャリアデザインを行い、実現するために具体的に行動し準備を進める。

【講義内容】

- 1 キャリアデザインとは
- 2 自分のキャリアデザイン 多職種についての理解を通しキャリアデザインを考える①
- 3 自分のキャリアデザイン 多職種についての理解を通しキャリアデザインを考える②
- 4 自分のキャリアデザイン 多職種についての理解を通しキャリアデザインを考える③
- 5 自分のキャリアデザイン 多職種についての理解を通しキャリアデザインを考える④
- 6 自分のキャリアデザイン 多職種についての理解を通しキャリアデザインを考える⑤
- 7 自分のキャリアデザイン 「理学療法士」としてのキャリアデザイン
- 8 自分のキャリアデザイン 社会人・医療人としてのキャリアデザイン
- 9 企業が求める人材とは
- 10 「履歴書」を書く①
- 11 「履歴書」を書く②
- 12 「履歴書」を書く③
- 13 就職に向けて 自分の「理学療法士」像を伝える
- 14 就職に向けて 自己アピールをする
- 15 就職に向けて 自分の考えを伝える（まとめ）

專門基礎分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
121	解剖学Ⅰ	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では、理学療法士が治療対象とする運動に関与する骨学・関節学・筋学について学ぶ。

【講義内容】

- 1 解剖学・総論
- 2 骨学・総論
- 3 骨学・上肢①
- 4 骨学・上肢②
- 5 骨学・上肢③
- 6 骨学・下肢①
- 7 骨学・下肢②
- 8 骨学・下肢③
- 9 骨学・体幹
- 10 骨学・頭蓋
- 11 関節
- 12 靭帯
- 13 筋・総論
- 14 筋・頭頸部
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
122	解剖学Ⅱ	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では運動を行い身体を維持するための器官である循環器・脈管・呼吸器・消化器について学ぶ。

【講義内容】

- 1 循環器・脈管①
- 2 循環器・脈管②
- 3 循環器・脈管③
- 4 循環器・脈管④
- 5 循環器・脈管⑤
- 6 循環器・脈管⑥
- 7 呼吸器①
- 8 呼吸器②
- 9 呼吸器③
- 10 呼吸器④
- 11 消化器①
- 12 消化器②
- 13 消化器③
- 14 消化器④
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
123	解剖学演習	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

骨学・循環器・脈管・消化器について学んだことを確認し、理解を深める。体表から骨指標が触知できるようになり、評価につなげる力を身につける。

【講義内容】

- 1 上肢 ①
- 2 上肢 ②
- 3 上肢 ③
- 4 上肢まとめ
- 5 循環器
- 6 下肢 ①
- 7 下肢 ②
- 8 下肢 ③
- 9 下肢まとめ
- 10 脈管
- 11 体幹 ①
- 12 体幹 ②
- 13 呼吸器
- 14 消化器
- 15 総合まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
124	解剖学実習	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。理学療法士が治療対象とする運動に関与する筋学、運動や身体全体の機能を調整する神経学を学ぶ。

【講義内容】

- 1 筋学・上肢①
- 2 筋学・上肢②
- 3 筋学・骨盤帯
- 4 筋学・下肢①
- 5 筋学・下肢②
- 6 筋学・胸部
- 7 筋学・腹部
- 8 筋学・背部
- 9 神経学総論
- 10 中枢神経（脊髄・脳幹・小脳）
- 11 中枢神経（大脳・伝導路①）
- 12 中枢神経（大脳・伝導路②）
- 13 末梢神経（脳神経）
- 14 末梢神経（脊髄神経・自律神経）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
125	機能解剖演習	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

各部位での骨格筋を確認し、四肢・体幹の運動を三次元的視点で理解する。運動機能評価の基本となる骨格筋の作用を理解する。

【講義内容】

- 1 体幹 ① (頸部・胸部・腹部・背部に機能する筋群)
- 2 体幹 ②
- 3 体幹 ③
- 4 体幹 ④
- 5 上肢 ① (上肢：肩甲帯から肩関節・肘関節・手関節・手指に機能する筋群)
- 6 上肢 ②
- 7 上肢 ③
- 8 上肢 ④
- 9 上肢 ⑤
- 10 下肢 ① (下肢：股関節・膝関節・足関節・足指に機能する筋群)
- 11 下肢 ②
- 12 下肢 ③
- 13 下肢 ④
- 14 下肢 ⑤
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
126	生理学 I	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

身体を構成する組織と器官の構造と機能について、循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系について学ぶ。ヒトの生体機能の仕組みについて理解を深める。

【講義内容】

- 1 生命現象と人体、細胞の構造と機能
- 2 血液①
- 3 血液②
- 4 心臓と循環①
- 5 心臓と循環②
- 6 心臓と循環③
- 7 呼吸とガスの運搬①
- 8 呼吸とガスの運搬②
- 9 尿の生成と排泄①
- 10 尿の生成と排泄②
- 11 消化と吸収①
- 12 消化と吸収②
- 13 内分泌
- 14 代謝と体温
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
127	生理学Ⅱ	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

生理学は生体機能のしくみを対象としており、本講義では、神経系、運動系、感覚系について概説し、病態や障害、理学療法に必要な評価・治療を理解する一助として、理解を深める。

【講義内容】

- 1 神経系の構造
- 2 興奮の伝導
- 3 ナトリウム-カリウムポンプ
- 4 シナプス伝達
- 5 筋の構造
- 6 筋収縮のメカニズム
- 7 随意運動のメカニズム
- 8 中枢神経系
- 9 末梢神経系
- 10 脊髄反射
- 11 体性感覚
- 12 特殊感覚
- 13 運動と呼吸
- 14 自律神経系
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
128	生理学実習	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、レポート、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

主に神経生理学と呼吸・循環生理学の基礎的現象についての理解を深め、理学療法士が行う治療手段の理論的背景を学ぶ。また実験・解析装置の仕組みを理解し活用する。

【講義内容】

- 1 呼気ガス分析①
- 2 呼気ガス分析②
- 3 呼吸①
- 4 呼吸②
- 5 心電図①
- 6 心電図②
- 7 血圧①
- 8 血圧②
- 9 筋電図①
- 10 筋電図②
- 11 血糖値①
- 12 血糖値②
- 13 浮腫①
- 14 浮腫②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
129	運動学Ⅰ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

身体における関節構造を理解し、運動を骨・関節および筋活動の立場から捉え、さまざまな運動機能障害の理学療法評価や治療の基礎的知識として学ぶ。

【講義内容】

- 1 運動学総論①
- 2 運動学総論②
- 3 運動学総論③
- 4 筋収縮①
- 5 筋収縮②
- 6 エネルギー代謝・呼吸・循環
- 7 上肢の運動学①
- 8 上肢の運動学②
- 9 上肢の運動学③
- 10 上肢の運動学④
- 11 下肢の運動学①
- 12 下肢の運動学②
- 13 下肢の運動学③
- 14 下肢の運動学④
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
130	運動学Ⅱ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

身体における各関節運動をもとに歩行や姿勢への影響について学ぶ。

【講義内容】

- 1 体幹の運動学①
- 2 体幹の運動学②
- 3 体幹の運動学③
- 4 体幹の運動学④
- 5 頭部・顔面の運動学①
- 6 頭部・顔面の運動学②
- 7 姿勢①
- 8 姿勢②
- 9 歩行①
- 10 歩行②
- 11 歩行③
- 12 歩行④
- 13 走行
- 14 運動学習
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
131	運動学実習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、レポート、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

身体における基本的な動作および歩行について学習し動作の観察や分析を学ぶ。また、実習を通し、筋、関節運動、姿勢の特徴について理解を深める。

【講義内容】

- 1 姿勢・動作の観察と分析について
- 2 座位、立位、寝返りの観察
- 3 座位、立位、寝返りの分析
- 4 立ち上がり、起き上がりの観察
- 5 立ち上がり、起き上がりの分析
- 6 歩行の観察①
- 7 歩行の観察②
- 8 歩行の分析
- 9 2関節筋
- 10 体圧分布
- 11 筋収縮
- 12 姿勢と重心動揺
- 13 3次元動作解析
- 14 考察
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
132	発達障害学	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、レポート		

【講義目的・内容・計画】

人間の様々な機能の発達について理解を深め、小児疾患に対する理学療法の基礎を学ぶ。

【講義内容】

- 1 オリエンテーション
- 2 子どもたちの治療にあたって・対象疾患について
- 3 発達の評価
- 4 正常発達：新生児～3ヶ月
- 5 正常発達：4～6ヶ月
- 6 正常発達：7～10ヶ月
- 7 正常発達：11～12ヶ月、立位・歩行の発達
- 8 原始反射・姿勢反応 ①
- 9 原始反射・姿勢反応 ②
- 10 小児疾患と理学療法①
- 11 小児疾患と理学療法②
- 12 小児疾患と理学療法③
- 13 小児疾患と理学療法④
- 14 小児疾患と理学療法⑤
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
133	身体機能学Ⅰ	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

身体を構成する細胞・組織を器官系に大別し、本講義では、骨格系、呼吸器系、循環器系、消化器系の構造と機能について学ぶ。

【講義内容】

- 1 骨の基礎：骨の形、長骨の構造
- 2 骨の基礎：骨の発生と成長、軟骨の種類
- 3 骨の連結：連結の種類、関節の構造
- 4 骨の連結：骨・関節の名称
- 5 呼吸器系：解剖
- 6 呼吸器系：呼吸運動
- 7 呼吸器系：肺の血管、肺の血流と換気、呼吸生理
- 8 呼吸器系：スパイロメトリー、フローボリューム曲線
- 9 循環器系：心臓の構造、刺激伝導系
- 10 循環器系：全身の動脈、全身の静脈、リンパ
- 11 循環器系：循環の調節、血液
- 12 泌尿器系：構造と機能
- 13 消化器系：消化器系の構造と機能
- 14 消化器系：食道以下の消化器
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
134	身体機能学Ⅱ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

身体を構成する細胞・組織を器官系に大別し、本講義では、神経系の構造と機能について学ぶ。

【講義内容】

- 1 神経の興奮伝導：ニューロンの基本構造
- 2 神経の興奮伝導：神経の興奮と伝導
- 3 神経の興奮伝導：神経の分類、シナプス結合
- 4 中枢神経系：大脳、間脳
- 5 中枢神経系：脳幹、小脳、脊髄
- 6 中枢神経系：伝導路、脳室
- 7 末梢神経：末梢神経の機能、脳神経
- 8 末梢神経：脊髄神経、支配神経
- 9 反射と筋活動：伸張反射、I b抑制
- 10 反射と筋活動： γ ループ
- 11 反射と筋活動：相反神経支配、反射中枢
- 12 感覚：感覚の分類、皮膚の構造
- 13 感覚：感覚受容器
- 14 感覚：特殊感覚
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
135	病理学	2年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

理学療法に必要な疾患の原因、病変、経過、転帰などの本質を理解するための知識を学ぶ。

【講義内容】

- 1 退行性病変と代謝異常①
- 2 退行性病変と代謝異常②
- 3 循環障害
- 4 進行性病変
- 5 感染症
- 6 老化
- 7 炎症①
- 8 炎症②
- 9 免疫①
- 10 免疫②
- 11 腫瘍①
- 12 腫瘍②
- 13 先天異常①
- 14 先天異常②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
136	精神障害学	2年 後期	医師・外部有識者
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

こころの病気についての特徴について学び、理学療法の評価・治療のための知識・理解を深める。

【講義内容】

- 1 精神疾患総論、精神医学的検査・診断法
- 2 心理検査
- 3 心理療法
- 4 統合失調症
- 5 統合失調症
- 6 精神保健Ⅰ
- 7 精神保健Ⅱ
- 8 対人支援
- 9 神経症性障害・ストレス関連障害
- 10 老年期精神障害
- 11 小児期精神障害・精神遅滞
- 12 精神保健福祉と医療
- 13 地域移行支援
- 14 気分障害・てんかん
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
137	神経内科障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

神経疾患とは中枢神経（脳・脊髄）、末梢神経および筋の疾患を総称する。これらの疾患は運動機能を障害するため、リハビリテーションが必要となる。この講義では、脳機能の局在、意識とその障害について理解し、検査・治療（薬物治療を含む）について学ぶ。

【講義内容】

- 1 脳の病態
- 2 補助診断法
- 3 脳腫瘍
- 4 頭部外傷
- 5 脳血管障害
- 6 水頭症
- 7 先天奇形
- 8 認知症・高次脳機能障害
- 9 変性疾患：パーキンソン病
- 10 変性疾患：脊髄小脳変性症
- 11 脱髄疾患
- 12 末梢神経障害・感染疾患
- 13 筋疾患：筋ジストロフィー
- 14 脊椎・脊髄疾患
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
138	骨関節障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

リハビリテーションを行う上で重要な整形外科分野の疾患に関し、最近のトピックスや診察（画像診断を含む）・治療（手術、薬物治療など）の現状を交えながら学習する。

【講義内容】

- 1 骨粗鬆症
- 2 骨折①
- 3 骨折②
- 4 末梢神経損傷 上・下肢
- 5 膝OA、TKA
- 6 股OA、THA、大腿骨頸部骨折
- 7 リウマチ
- 8 腰椎椎間板ヘルニア
- 9 脊柱管狭窄症、すべり症
- 10 頸椎症、頸髄症
- 11 頸椎椎間板ヘルニア、OPLL
- 12 骨腫瘍、緩和ケア
- 13 脊髄損傷
- 14 その他の疾患
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
139	医学・医療概説	1年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

日本における医学の構成と医療の構成を整理し、それらの実践に不可欠である医学倫理と現行の保険制度を理解する。本校の各専門基礎分野講義の理解を深めるために最低限の基礎生理学を学ぶ。また、生命維持・活動のための栄養の基礎知識、予防について学ぶ。

【講義内容】

- 1 医学・医療の構成、予防医学
- 2 医学・医療の構成と医療従事者
- 3 生命の基礎構成・栄養①
- 4 生命の基礎構成・栄養②
- 5 医学・医療倫理 ①
- 6 医学・医療倫理 ②
- 7 医学・医療倫理 ③
- 8 医学・医療倫理 ④
- 9 心臓生理学の基礎①
- 10 心臓生理学の基礎②
- 11 呼吸生理学の基礎(スポーツ医学生理の基礎)①
- 12 呼吸生理学の基礎(スポーツ医学生理の基礎)②
- 13 神経生理学の基礎①
- 14 神経生理学の基礎②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
140	外科系障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

理学療法の対象となる代表的な外科的治療対象となる疾患の病態を知り、どのような医学的検査(画像診断を含む)・治療(薬物療法を含む)が行われているかを学習する。そして、各疾患に必要なリハビリテーション医療についての理解を深める。

【講義内容】

- 1 心臓外科① 手術
- 2 心臓外科② 先天性心疾患
- 3 心臓外科③ 先天性心疾患
- 4 心臓外科④ 後天性心疾患
- 5 血管外科① 動脈疾患
- 6 血管外科② 静脈疾患
- 7 心臓リハビリテーション
- 8 脳外科①
- 9 脳外科②
- 10 脳外科③
- 11 小児整形外科①
- 12 小児整形外科②
- 13 小児整形外科③
- 14 小児整形外科④
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
141	内科系障害学	2年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

成人・小児の内科的疾患の病態生理や症状、検査（画像診断を含む）・治療（薬物治療を含む）を学び、各疾患に対し理学療法を行えるよう、そして、内科的疾患を合併する対象者への安全で効果的な対応につなげる。

【講義内容】

- 1 内科総論
- 2 呼吸器内科①
- 3 呼吸器内科②
- 4 循環器内科①
- 5 循環器内科②
- 6 内分泌内科
- 7 消化器内科
- 8 腎臓内科
- 9 小児科総論
- 10 小児科：先天性異常・先天性代謝異常
- 11 小児科：てんかん・神経疾患
- 12 小児科：循環器疾患・呼吸器疾患・感染症
- 13 小児科：消化器疾患・内分泌・代謝疾患
- 14 小児科：悪性腫瘍・腎疾患・重症心身障がい
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
142	身体機能障害学 I	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

主な治療対象となる疾患について、病因、病態生理、症候、評価を学ぶ。

【講義内容】

- 1 骨関節障害①
- 2 骨関節障害②
- 3 骨関節障害③
- 4 骨関節障害④
- 5 骨関節障害⑤
- 6 骨関節障害⑥
- 7 骨関節障害⑦
- 8 骨関節障害⑧
- 9 中枢神経障害①
- 10 中枢神経障害②
- 11 中枢神経障害③
- 12 中枢神経障害④
- 13 中枢神経障害⑤
- 14 中枢神経障害⑥
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
143	身体機能障害学Ⅱ	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

主な治療対象となる疾患について、病因、病態生理、症候、評価を学ぶ。

【講義内容】

- 1 循環器疾患①
- 2 循環器疾患②
- 3 循環器疾患③
- 4 循環器疾患④
- 5 呼吸器疾患①
- 6 呼吸器疾患②
- 7 呼吸器疾患③
- 8 消化器疾患①
- 9 消化器疾患②
- 10 代謝性疾患
- 11 内分泌疾患
- 12 腎疾患
- 13 血液疾患・膠原病
- 14 廃用症候群・加齢
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
144	リハビリテーション概論	1年 前期	医師・理学療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

リハビリテーションの起源から現在のリハビリテーションの定義・意義を知り、社会における理学療法・作業療法の役割を理解する。また、リハビリテーションが対象となる疾患の基礎と具体的な理学療法・作業療法を理解することで、より専門的な授業を修得しやすくする。

【講義内容】

- 1 リハビリテーションの起源と意味
- 2 チーム医療とリハビリテーション関連職種
- 3 リハビリテーションの為の医学的基礎知識①
- 4 リハビリテーションの為の医学的基礎知識②
- 5 理学療法について
- 6 作業療法について
- 7 障害とは (ICIDH)
- 8 障害とは (ICF)
- 9 機能障害の評価①
- 10 機能障害の評価②
- 11 整形外科疾患とリハビリテーション
- 12 脳血管障害とリハビリテーション
- 13 内臓疾患とリハビリテーション
- 14 救急救命
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
145	リハビリテーション医学	1年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

リハビリテーションの理念に沿ったリハビリテーション医療の全体を把握するとともに、各専門職の役割とチームアプローチの重要性を学ぶ。さらに、リハビリテーション医療が治療対象とする様々な障害の病態を理解し、その評価と治療についての知識を深める。

【講義内容】

- 1 リハビリテーション医学・医療の流れ
- 2 リハビリテーション診療 ①ADL評価
- 3 リハビリテーション診療 ②画像診断学
- 4 リハビリテーション診療 ③電気診断学
- 5 リハビリテーション診療 ④治療
- 6 障害の評価と治療 ①廃用症候群
- 7 障害の評価と治療 ②運動障害と歩行障害
- 8 障害の評価と治療 ③循環機能障害と呼吸の障害
- 9 障害の評価と治療 ④摂食・嚥下障害とリハ栄養・褥瘡
- 10 障害の評価と治療 ⑤排尿障害と腎障害
- 11 障害の評価と治療 ⑥痙縮・固縮
- 12 障害の評価と治療 ⑦高次脳機能障害
- 13 障害の評価と治療 ⑧加齢による障害と発達障害
- 14 障害の評価と治療 ⑨障害受容
- 15 まとめ

専門分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
151	理学療法概論	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

理学療法（理学療法士）の歴史・概念を学び、さまざまな活動分野で理学療法士が社会に対して果たす役割と課題について理解する。

【講義内容】

- 1 理学療法の概念と役割
- 2 理学療法の手段
- 3 理学療法の現状と制度
- 4 理学療法の倫理
- 5 理学療法用語
- 6 理学療法の方法①
- 7 理学療法の方法②
- 8 理学療法の方法③
- 9 理学療法の方法④
- 10 理学療法の対象①
- 11 理学療法の対象②
- 12 理学療法の対象③
- 13 リハビリテーションに関わる他職種とチームワーク
- 14 理学療法に関わる医療・福祉制度
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
152	基礎理学療法学 I	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

理学療法士としての理念・倫理・社会的適応の基本を知る。日常生活動作の障害をとらえるために、動作分析を行い、各動作の特徴を学ぶ。また、理学療法の三本柱となる運動療法・物理療法・装具療法について学ぶ。

【講義内容】

- 1 理学療法士とは
- 2 理学療法とは
- 3 理学療法士の現状（医療と介護）
- 4 機能と能力
- 5 日常生活動作とは
- 6 動作分析とは
- 7 臥位から坐位までの動作分析
- 8 立ち上がりから歩行までの動作分析
- 9 運動療法とは
- 10 運動療法の実際
- 11 物理療法とは
- 12 物理療法の現状
- 13 装具療法とは
- 14 歩行補助具、自助具など
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
153	基礎理学療法学Ⅱ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、レポート、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

各種疾患の概略を知り、理学療法を行う上での評価・治療との関連性を学ぶ。

【講義内容】

- 1 評価・治療の考え方
- 2 拘縮、筋力低下
- 3 整形外科疾患①
- 4 整形外科疾患②
- 5 中枢神経疾患①
- 6 中枢神経疾患②
- 7 理学療法手段①
- 8 理学療法手段②
- 9 理学療法手段③
- 10 理学療法手段④
- 11 理学療法手段⑤
- 12 理学療法手段⑥
- 13 理学療法手段⑦
- 14 理学療法手段⑧
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
154	研究方法論	3年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート		

【講義目的・内容・計画】

医療統計の基礎を学修し、統計資料や研究論文を適切に読み解く能力を修得する。さらに、エビデンス（根拠）に基づく理学療法実践の展開力を身に付けるため、研究の基礎について、倫理的側面を含めて学ぶ。

【講義内容】

- 1 研究方法：研究の意義
- 2 研究方法：研究デザイン①
- 3 研究方法：研究デザイン②
- 4 文献の種類
- 5 文献抄読
- 6 症例検討①
- 7 症例検討②
- 8 研究計画と倫理
- 9 研究方法：統計解析と検定
- 10 先行研究の調査
- 11 データの採集
- 12 結果のまとめ
- 13 考察
- 14 研究発表
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
155	理学療法管理学	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

リハビリテーション部門における組織構造を理解し、管理という視点から業務に対する理解を深める。また、質の高い理学療法を提供するため、病期や疾患に応じたリスク管理を学ぶ

【講義内容】

- 1 リハビリテーションにおける管理①
- 2 リハビリテーションにおける管理②
- 3 組織構造について
- 4 倫理とは
- 5 理学療法士としての倫理
- 6 自己研鑽、理学療法教育
- 7 多職種連携
- 8 分野別管理①急性期
- 9 分野別管理②回復期
- 10 分野別管理③生活期
- 11 疾患別リスク管理①
- 12 疾患別リスク管理②
- 13 疾患別リスク管理③
- 14 疾患別リスク管理④
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
156	理学療法評価学 I	1年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

理学療法を行う上で必要不可欠な評価の意義を理解する。この講義では一般的な評価事項やバイタルサインについてその目的・具体的な手技・進め方を学ぶ。

【講義内容】

- 1 総論：評価の意義・目的
- 2 総論：評価の過程
- 3 総論：評価の対象
- 4 総論：評価の種類・時期と目的・記録
- 5 総論：評価実施上の留意事項
- 6 一般的評価：問診（医療面接）
- 7 一般的評価：問診（医療面接）
- 8 一般的評価：四診
- 9 バイタルサイン：意識状態
- 10 バイタルサイン：心拍・脈拍
- 11 バイタルサイン：血圧
- 12 バイタルサイン：血圧
- 13 バイタルサイン：呼吸・経皮的酸素飽和度
- 14 バイタルサイン：体温、リスク管理
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
157	理学療法評価学Ⅱ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

理学療法評価の意義、検査・測定法について、その目的・具体的な手技・進め方を学ぶ。得られた評価結果のとらえ方を学ぶ。

【講義内容】

- 1 痛みの評価
- 2 痛みと臨床推論
- 3 知覚検査①
- 4 知覚検査②
- 5 反射検査①
- 6 反射検査②
- 7 知覚・反射と臨床推論
- 8 姿勢反射検査①
- 9 姿勢反射検査②
- 10 姿勢反射検査③
- 11 姿勢反射と臨床推論
- 12 バランス・平衡機能検査①
- 13 バランス・平衡機能検査②
- 14 バランス・平衡機能と臨床推論
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
158	理学療法評価学Ⅲ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

中枢神経疾患の病態を把握するための評価について学ぶ。また、中枢神経疾患に合併し、理学療法を行うにあたって問題となる言語聴覚障害・高次脳機能障害について理解し、その評価について学ぶ。

【講義内容】

- 1 協調性検査
- 2 協調性と臨床推論
- 3 筋緊張検査
- 4 筋緊張と臨床推論
- 5 片麻痺機能検査①
- 6 片麻痺機能検査②
- 7 片麻痺機能検査③
- 8 片麻痺機能と臨床推論
- 9 脳神経検査
- 10 脳神経と臨床推論
- 11 高次脳機能障害の評価①
- 12 高次脳機能障害の評価②
- 13 構音障害の評価
- 14 摂食嚥下障害の評価
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
159	理学療法評価学演習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

これまでに学んできた理学療法評価の意義・手技を復習し、各疾患に対しどのように評価を実施していくかを具体的に学ぶ。そして、評価結果の統合と解釈に基づき、治療への展開していく過程を理解する。

【講義内容】

- 1 ICFの考え方と臨床記録（SOAP）
- 2 中枢神経疾患：姿勢・動作観察・分析（画像・動画の活用含む）①
- 3 中枢神経疾患：姿勢・動作観察・分析（画像・動画の活用含む）②
- 4 中枢神経疾患：評価①
- 5 中枢神経疾患：評価②
- 6 中枢神経疾患：評価の統合と解釈・考察①
- 7 中枢神経疾患：評価の統合と解釈・考察②
- 8 中枢神経疾患：POSシステム（SOAP）を用いた臨床記録
- 9 整形外科疾患：POSシステム（SOAP）を用いた臨床記録
- 10 整形外科疾患：姿勢・動作観察・分析（画像・動画の活用含む）
- 11 整形外科疾患：評価①
- 12 整形外科疾患：評価②
- 13 整形外科疾患：評価の統合と解釈・考察①
- 14 整形外科疾患：評価の統合と解釈・考察②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
160	理学療法評価学実習 I	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、実技試験、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

理学療法士が運動器の評価として行う関節可動域の検査・測定法である「関節可動域測定法」・「形態測定」の意義、評価を行う際に必要な手技を学ぶ。

【講義内容】

- 1 関節可動域測定総論
- 2 肩関節の測定
- 3 肘関節・前腕・手関節の測定
- 4 上肢の可動域制限と臨床推論
- 5 股関節の測定
- 6 膝関節・足関節の測定
- 7 肩甲帯・頭頸部・体幹の測定
- 8 下肢・体幹の可動域制限と臨床推論
- 9 形態測定総論
- 10 上肢長の測定
- 11 下肢長の測定
- 12 上肢周径の測定
- 13 下肢周径の測定
- 14 形態異常と推論
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
161	理学療法評価学実習Ⅱ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、実技試験、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

理学療法士が運動器の評価として行う筋力の検査・測定法である「徒手筋力検査法」・「整形外科的テスト」の意義、評価を行う際に必要な手技を学ぶ。

【講義内容】

- 1 徒手筋力検査法・総論
- 2 肩甲帯の測定
- 3 肩関節の測定
- 4 肘関節・前腕・手関節の測定
- 5 上肢の筋力低下と臨床推論
- 6 股関節の測定①
- 7 股関節の測定②
- 8 膝関節・足関節の測定
- 9 頭頸部・体幹の測定
- 10 下肢・体幹の筋力低下と臨床推論
- 11 整形外科的テスト（上肢）
- 12 整形外科的テスト（下肢）
- 13 整形外科的テスト（体幹）
- 14 整形外科的テストと臨床推論
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
162	理学療法評価学実習Ⅲ	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、実技試験		

【講義目的・内容・計画】

これまでに学んできた理学療法評価の意義・手技を確認し、臨床の場面で実践できる応用力を身につける。

【講義内容】

- 1 療法士面接
- 2 脈拍と血圧の測定
- 3 呼吸パターンと動脈血酸素飽和度の評価
- 4 関節可動域測定
- 5 徒手筋力測定
- 6 形態測定
- 7 整形外科的テスト
- 8 筋の触診
- 9 感覚検査（触覚・受動運動覚）
- 10 反射検査（腱反射・病的反射）
- 11 BRS・SIAS
- 12 運動失調検査
- 13 立位バランス評価
- 14 各種画像の見方
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
163	運動療法学	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

理学療法の3本柱の一つである運動療法について、動くと言うことを課題にして関節ならびに筋の特性を学び、理学療法対象疾患の運動療法について理解する。

【講義内容】

- 1 運動療法の体験
- 2 運動療法の定義と手段
- 3 関節の特性①
- 4 関節の特性②
- 5 筋の特性
- 6 筋力増強法
- 7 立ち上がり運動の運動学
- 8 疾患別各種体操
- 9 整形外科疾患の運動療法①
- 10 整形外科疾患の運動療法②
- 11 中枢神経疾患の運動療法①
- 12 中枢神経疾患の運動療法②
- 13 特定疾患の運動療法（パーキンソン病など）
- 14 内部障害の運動療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
164	物理療法学	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

物理療法に必要な知識を学ぶとともに、各機器の物理学的特徴や、生理学的な作用等を理解する。

【講義内容】

- 1 物理療法学の概要・リスク管理
- 2 温熱・寒冷が生体に及ぼす影響
- 3 機械的刺激が生体に及ぼす影響
- 4 電気刺激が生体に及ぼす影響
- 5 炎症・疼痛・浮腫・循環障害の病理学的理解
- 6 炎症・疼痛・浮腫・循環障害の病理学的理解
- 7 温熱療法（1）ホットパック・パラフィン浴
- 8 温熱療法（2）赤外線、超短波、極超短波、超音波
- 9 寒冷療法－アイスパック・極低温療法
- 10 光線療法－紫外線、レーザー療法
- 11 電気療法－低周波、中周波
- 12 水治療法－過流浴、交代浴
- 13 牽引療法－頰椎・腰椎牽引
- 14 バイオフィードバック療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
165	物理療法学実習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

物理療法に関する知識を深めるとともに、治療上必要とされる基本的な知識・技術を学び、また実際に経験することで、各種療法の特徴を理解し、臨床応用する力を身につける。

【講義内容】

- 1 オリエンテーション (1) 実習の目的と方法
- 2 オリエンテーション (2) 各機器使用の実際と注意点
- 3 実習①ホットパック
- 4 実習②寒冷療法
- 5 実習③パラフィン浴
- 6 実習④極超短波療法、超短波療法
- 7 実習⑤超音波療法
- 8 実習⑥低周波療法
- 9 実習⑦レーザー療法
- 10 実習⑧水治療法
- 11 実習⑨頸椎牽引療法
- 12 実習⑩腰椎牽引療法
- 13 実習のまとめ (1) 実技フィードバック
- 14 実習のまとめ (2) 課題レポートフィードバック
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
166	義肢装具学	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

義肢装具の目的、名称、形状などを理解する。実物を利用しながら、各種義肢装具への理解を深める。

【講義内容】

- 1 義肢・装具の総論
- 2 靴型装具の種類と特徴
- 3 短下肢装具の種類と特徴
- 4 各種継手（装具）の種類と特徴
- 5 長下肢装具の種類と特徴
- 6 体幹装具の種類と特徴
- 7 頸椎装具と前腕装具の特徴
- 8 各種疾患の装具
- 9 断端管理と計測の方法
- 10 各種ソケットの種類と特徴
- 11 各種継手（義足）の種類と特徴
- 12 下腿義足のスタティックアライメント
- 13 大腿義足のダイナミックアライメント①
- 14 大腿義足のダイナミックアライメント②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
167	義肢装具学実習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

義肢装具の臨床的適応について学ぶ。実際に装着する等の経験やデモンストレーションを通して理解を深める。また、チーム医療として義肢装具士の役割について理解する。

【講義内容】

- 1 総論Ⅰ：装具について
- 2 各論Ⅰ装具：1) 靴形装具、短下肢装具
- 3 各論Ⅰ装具：2) 短下肢装具・長下肢装具
- 4 各論Ⅰ装具：3) その他の下肢装具
- 5 各論Ⅰ装具：4) 頸椎・体幹装具
- 6 各論Ⅰ装具：5) 上肢装具
- 7 各論Ⅰ実習：6) 陰性モデルの採型（上肢）陽性モデルの作成・修正
- 8 各論Ⅰ実習：7) 軟性装具の装着
- 9 総論Ⅱ：切断について
- 10 各論Ⅱ上肢切断：1) 義手について
- 11 各論Ⅱ下肢切断：2) 義足パーツ（継手等）、義足ソケットについて
- 12 各論Ⅱ下肢切断：3) 義足のアライメントと跛行（動画によるデモ）
- 13 各論Ⅱ下肢切断：4) 義足歩行における跛行の原因
- 14 各論Ⅱ下肢切断：5) 義足歩行における跛行の模擬的再現
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
168	日常生活技術学	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

日常生活活動（ADL）の定義・概念・目的・方法などを学び、代表的なADL評価方法についてその内容・適応を理解する。

【講義内容】

- 1 ADLの概念と範囲
- 2 生活機能からみたADLの位置づけ
- 3 ADL評価のポイント
- 4 ADL評価方法
- 5 杖の種類と調節方法
- 6 車椅子の種類と採寸方法
- 7 住環境整備
- 8 FIMとBarthel Indexの特徴
- 9 FIMの採点方法①
- 10 FIMの採点方法②
- 11 FIMの採点方法③
- 12 FIMの採点方法④
- 13 FIMの採点方法⑤
- 14 FIMの採点方法⑥
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
169	日常生活技術学実習	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

日常生活技術学で学んだ基礎知識をもとに、実際の動作方法や介助・練習指導方法を理解する。また、各疾患の特徴を踏まえた評価と治療の展開のための基本的な考え方や方法を学ぶ。

【講義内容】

- 1 ADL：食事の実際（介助と練習指導）
- 2 ADL：整容の実際（介助と練習指導）
- 3 ADL：入浴の実際（介助と練習指導）
- 4 ADL：更衣・上半身の実際（介助と練習指導）
- 5 ADL：更衣・下半身の実際（介助と練習指導）
- 6 ADL：トイレの実際（介助と練習指導）
- 7 ADL：移乗の実際（介助と練習指導）
- 8 ADL：歩行の実際（介助と練習指導）
- 9 ADL：階段昇降の実際（介助と練習指導）
- 10 ADL：その他の項目の実際（介助と練習指導）
- 11 ケーススタディ①
- 12 ケーススタディ②
- 13 ケーススタディ③
- 14 ケーススタディ④
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
170	理学療法治療学各論 I	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

運動療法学で学んだ基礎知識及び基本的な運動療法をもとに、整形外科疾患に対する基本的な運動療法の定義、目的、注意事項、運動療法について学ぶ。

【講義内容】

- 1 変形性関節症に対する運動療法①
- 2 変形性関節症に対する運動療法②
- 3 人工関節置換術後に対する運動療法①
- 4 人工関節置換術後に対する運動療法②
- 5 骨折・脱臼に対する運動療法①
- 6 骨折・脱臼に対する運動療法②
- 7 関節リウマチに対する運動療法
- 8 スポーツ損傷に対する運動療法
- 9 脊椎疾患に対する運動療法
- 10 腰痛症に対する運動療法
- 11 肩関節周囲炎に対する運動療法
- 12 腱板損傷に対する運動療法
- 13 骨粗鬆症に対する運動療法
- 14 末梢神経損傷に対する運動療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
171	理学療法治療学各論Ⅱ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

運動療法学で学んだ基礎知識及び基本的な運動療法をもとに、中枢神経疾患に対する基本的な運動療法の定義、目的、注意事項、運動療法について学ぶ。

【講義内容】

- 1 脳血管障害①
- 2 脳血管障害②
- 3 脳血管障害③
- 4 脳血管障害④
- 5 高次脳機能障害・認知症
- 6 頸髄損傷①
- 7 頸髄損傷②
- 8 頸髄損傷③
- 9 パーキンソン病①
- 10 パーキンソン病②
- 11 脊髄小脳変性症①
- 12 脊髄小脳変性症②
- 13 筋萎縮性側索硬化症
- 14 多発性硬化症
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
172	理学療法治療学各論Ⅲ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

末梢神経疾患・筋疾患等で治療対象となる疾患の特徴を理解し、理学療法を行う為の評価・治療の展開について学ぶ。

【講義内容】

- 1 末梢神経損傷①
- 2 末梢神経損傷②
- 3 ギラン・バレー症候群
- 4 筋ジストロフィー①
- 5 筋ジストロフィー②、脊髄性筋萎縮症 (SMA)
- 6 多発性筋炎・皮膚筋炎
- 7 重症筋無力症
- 8 脳性麻痺①
- 9 脳性麻痺②
- 10 二分脊椎
- 11 染色体異常 (ダウン症候群)
- 12 重症心身障害
- 13 低出生体重児 (早産児)
- 14 骨系統疾患、発達性協調運動障害
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
173	理学療法治療学各論Ⅳ	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

各種疾患・身体部位別の病態・障害像を理解し、理学療法プログラムの立案方法について学ぶ。

【講義内容】

- 1 骨関節障害①
- 2 骨関節障害②
- 3 骨関節障害③
- 4 骨関節障害④
- 5 中枢神経疾患①
- 6 中枢神経疾患②
- 7 中枢神経疾患③
- 8 末梢神経疾患①
- 9 末梢神経疾患②
- 10 末梢神経疾患③
- 11 循環器疾患①
- 12 循環器疾患②
- 13 代謝性疾患①
- 14 代謝性疾患②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
174	理学療法治療学各論Ⅴ	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

内部障害の理学療法について、循環器疾患・呼吸器疾患・代謝性疾患を取り上げ、必要な生理学・病理学を理解し基本的な検査・評価・リスク管理・運動療法を理解する。

【講義内容】

- 1 心疾患と心機能評価
- 2 運動耐容能の評価
- 3 心電図
- 4 循環器疾患の運動療法
- 5 呼吸生理
- 6 呼吸器機能評価①
- 7 呼吸器機能評価②
- 8 呼吸器疾患について①
- 9 呼吸器疾患について②
- 10 呼吸器疾患の理学療法
- 11 呼吸器疾患の理学療法
- 12 代謝性疾患（糖尿病）の病態と評価
- 13 糖尿病に対する運動療法の種類と効果
- 14 腎疾患に対する運動療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
175	理学療法治療学実習	2年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、実技試験		

【講義目的・内容・計画】

一般的な理学療法・処置について、実習を通じて知識・技術を学ぶ。

【講義内容】

- 1 基本的な理学療法治療技術①
- 2 基本的な理学療法治療技術②
- 3 基本的な理学療法治療技術③
- 4 基本的な理学療法治療技術④
- 5 基本的な理学療法治療技術⑤
- 6 基本的な理学療法治療技術⑥
- 7 基本的な理学療法治療技術⑦
- 8 基本的な理学療法治療技術⑧
- 9 基本的な理学療法治療技術⑨
- 10 基本的な理学療法治療技術⑩
- 11 骨関節疾患における理学療法治療技術
- 12 中枢神経疾患における理学療法治療技術
- 13 末梢神経筋疾患における理学療法治療技術
- 14 内部障害系疾患における理学療法治療技術
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
176	理学療法治療技術学 I	3年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

これまで学んできた、基礎医学分野の知識を再確認し、理学療法治療技術の基礎を学ぶ。

【講義内容】

- 1 解剖学
- 2 解剖学
- 3 解剖学
- 4 解剖学
- 5 解剖学
- 6 解剖学
- 7 生理学
- 8 生理学
- 9 生理学
- 10 運動学
- 11 運動学
- 12 病理学
- 13 病理学
- 14 病理学
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
177	理学療法治療技術学Ⅱ	3年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

これまで学んできた、臨床医学分野の知識を再確認し、理学療法治療技術の基礎を学ぶ。

【講義内容】

- 1 内科
- 2 内科
- 3 外科
- 4 外科
- 5 整形外科
- 6 整形外科
- 7 神経内科
- 8 小児科
- 9 小児科
- 10 心理学
- 11 心理学
- 12 精神医学
- 13 精神医学
- 14 人間発達学
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
178	理学療法治療技術学Ⅲ	3年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

これまで学んできた、理学療法に関する知識・技術を確認し、一層の習熟と発展を図る。

【講義内容】

- 1 評価学
- 2 評価学
- 3 評価学
- 4 運動療法
- 5 運動療法
- 6 日常生活活動
- 7 義肢・装具学
- 8 物理療法
- 9 中枢神経疾患の理学療法
- 10 整形外科疾患の理学療法
- 11 神経筋疾患の理学療法
- 12 脊髄損傷の理学療法
- 13 小児の理学療法
- 14 内部障害に対する理学療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
179	地域理学療法学Ⅰ	1年 後期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート		

【講義目的・内容・計画】

地域リハビリテーションチームの一員として必要な他部門との連携及び全般的なシステムについて学ぶ。施設（医療・介護等）での職業倫理と管理について理解する。

【講義内容】

- 1 地域リハビリテーションの概念
- 2 地域理学療法について
- 3 職業倫理について
- 4 社会人として求められるもの
- 5 地域連携①
- 6 地域連携②
- 7 地域包括ケアシステムの考え方
- 8 地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割
- 9 介護予防（地域支援事業）
- 10 介護保険下での理学療法
- 11 通所リハビリテーション
- 12 訪問リハビリテーション
- 13 公的な文章の書き方（紹介状等）
- 14 診療報酬・カルテ管理等
- 15 レポートまとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
180	地域理学療法学Ⅱ	2年 前期	理学療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、レポート		

【講義目的・内容・計画】

地域リハビリテーションにおいて必要な、医療・保健・福祉との連携、及び諸制度について理解する。地域リハビリテーションシステムの中で、理学療法士が果たすべき役割と実際を捉え、今後の課題と可能性を探る。

【本実習での到達目標】

- 1 地域理学療法の関連制度
- 2 地域における社会資源
- 3 介護保険制度/要介護認定とケアマネジメント
- 4 介護保険における理学療法/施設・通所・訪問サービス
- 5 介護保険における理学療法/住環境の整備
- 6 介護保険における理学療法/福祉用具の導入
- 7 在宅理学療法に関わる知識
- 8 在宅理学療法に関わるリスク管理
- 9 在宅理学療法に関わる評価
- 10 症例検討
- 11 症例検討
- 12 症例検討
- 13 症例検討
- 14 症例検討
- 15 レポート・発表

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
181	基礎理学療法学臨床実習	2年 後期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、ポートフォリオ、実習報告会		

【講義目的・内容・計画】

理学療法士の対象者への対応等をチームの一員として見学する。その中で、「見学」の仕方を学び、理学療法の機能・役割を理解し専門家としての態度や対応方法を育む。また、上級学年で学ぶ専門知識や技術を効果的かつ有意義に習得できるようにする。

【本実習での到達目標】

- 1 「見学」の仕方を学ぶ
- 2 理学療法の機能・役割を理解し専門家としての態度や対応方法を育む

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
182	理学療法評価学臨床実習	2年 後期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、ポートフォリオ、実習報告会		

【講義目的・内容・計画】

臨床実習指導者の指導・監督の下で「見学」「協同参加」「実施」の流れを重視し、理学療法における検査・測定の経験を積む。

【本実習での到達目標】

- 1 指導者が対象者の評価・測定を実施する状況を見学し留意点・判定等について説明を受け理解する
- 2 指導者が検査・測定を実施する際に学生が補助を行ったり、学生が補助を受けながら測定を模倣・実施できる
- 3 指導者の監視のもと、学生が検査・測定を実施できる

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
183	理学療法総合臨床実習Ⅰ	3年 前期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、ポートフォリオ、臨床能力試験、実習報告会		

【講義目的・内容・計画】

臨床実習指導者の指導・監督の下で「見学」「協同参加」「実施」の流れを重視し、理学療法評価・障害像の把握・治療までを総合的に経験する。

【本実習での到達目標】

- 1 指導者が対象者の評価・治療を実施する状況を見学し評価の留意点・判定、治療の目的・技術面のポイント・対象者の反応について説明を受け理解する
- 2 指導者が対象者の評価・治療を実施する際に学生が補助を行ったり、学生が補助を受けながら評価・治療を模倣・実施できる
- 3 指導者の監視のもと、学生が評価・治療を実施できる

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
184	理学療法総合臨床実習Ⅱ	3年 前期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、ポートフォリオ、臨床能力試験、実習報告会		

【講義目的・内容・計画】

臨床実習指導者の指導・監督の下で「見学」「協同参加」「実施」の流れを重視し、理学療法評価・障害像の把握・治療までを総合的に経験する。

【本実習での到達目標】

- 1 指導者が対象者の評価・治療を実施する状況を見学し評価の留意点・判定、治療の目的・技術面のポイント・対象者の反応について説明を受け理解する
- 2 指導者が対象者の評価・治療を実施する際に学生が補助を行ったり、学生が補助を受けながら評価・治療を模倣・実施できる
- 3 指導者の監視のもと、学生が評価・治療を実施できる

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
185	地域理学療法学臨床実習	3年 後期	実務家教員
成績評価の方法	実習参加状況、ポートフォリオ、実習報告会		

【講義目的・内容・計画】

通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションでの実習を通し、地域リハビリテーションに関する制度を学び、理学療法士が担う役割を理解する。

【本実習での到達目標】

- 1 地域リハビリテーションの考え方・制度を知る
- 2 通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションの機能を知る
- 3 通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションにおける理学療法士の役割・業務を経験する

作業療法学科

基礎分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
301	情報科学	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、グループ発表		

【講義目的・内容・計画】

情報についてのマナーを知り、情報を活用するために必要な情報収集と判断・処理する力、情報をまとめる力（Word・Power Point・Excelを用いた作成）、情報を発信する力を身に着ける。また、レポート作成方法についても学ぶ。

【講義内容】

- 1 情報についてのマナー・法律
- 2 Word・PowerPoint・Excelの使い方について
- 3 レポート作成について
- 4 情報の活用と考える力
- 5 実践①－1（PowerPointを用いて）
- 6 実践①－2
- 7 実践②－1（Wordを用いて）
- 8 実践②－2
- 9 実践③－1（PowerPointを用いて）
- 10 実践③－2
- 11 実践④－1（Excelを用いて）
- 12 実践④－2
- 13 実践⑤－1 レポート作成
- 14 実践⑤－2
- 15 実践⑤－3

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
302	心理学	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

将来、対人援助職につく上で必要となる心理学的知見と臨床心理学的技法を学ぶ。

【講義内容】

- 1 精神分析 1
- 2 精神分析 2
- 3 クライエント中心療法
- 4 フォーカシング
- 5 認知行動療法
- 6 マイクロカウンセリング
- 7 心理検査
- 8 学習
- 9 記憶
- 10 思考
- 11 パーソナリティー
- 12 ストレス
- 13 発達
- 14 コミュニケーション
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
303	コミュニケーション学	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

社会人・医療人として「人と生きる」ために必要不可欠なコミュニケーションスキルについて学ぶ。チーム医療を実践するための視野の拡大と洞察力、傾聴・共感する能力、相手の立場で物事を推察する能力、継続しやり遂げる能力等を身につける。

【講義内容】

- 1 「他己紹介」
- 2 「コミュニケーションとは？」
- 3 「必要とされる」人材
- 4 医療に欠かせない「接遇」
- 5 「マナーの重要性」
- 6 コミュニケーション①
- 7 コミュニケーション②
- 8 コミュニケーション③
- 9 コミュニケーション④
- 10 コミュニケーション⑤
- 11 コミュニケーション⑥
- 12 コミュニケーション⑦
- 13 コミュニケーション⑧
- 14 自我状態を知る
- 15 総括

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
304	ライフスポーツ演習	1年 前期	外部有識者・作業療法士・理学療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート		

【講義目的・内容・計画】

障害のある方たちがレクリエーションとして楽しみ、時には、アスリートとして競い合う様々な「スポーツ」があることを知り、作業療法士としての支援を学ぶ。

【講義内容】

- 1 障がい者のスポーツとは・様々なスポーツの紹介
- 2 障がい者スポーツ体験①
- 3 障がい者スポーツ体験②
- 4 障がい者スポーツ体験③
- 5 障がい者スポーツ体験④
- 6 障がい者スポーツ体験⑤
- 7 障がい者スポーツ体験⑥
- 8 障がい者スポーツ体験⑦
- 9 障がい者のスポーツ支援（歴史）
- 10 障がい者のスポーツ支援（障がい者スポーツの意義）
- 11 障がい者のスポーツ支援（求められる支援について考える）
- 12 障がい者のスポーツ支援（PT・OTの役割）
- 13 障がい者のスポーツ支援（PT・OTとして障がい者スポーツとのかかわり）
- 14 車椅子バスケットボール①
- 15 車椅子バスケットボール②

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
305	生物学	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

分子から細胞へ、そして細胞から個体へとつながりをもって学び、ヒトの体の構造・働きを理解する

【講義内容】

- 1 生命の本質と歴史, 人体の階層性 (細胞)
- 2 人体の階層性 (組織と器官)
- 3 生体を構成する物質 (水, タンパク質)
- 4 生体を構成する物質 (炭水化物, 核酸, 脂質)
- 5 代謝のしくみ (異化)
- 6 代謝のしくみ (同化)
- 7 刺激の伝導, 伝達 (筋と神経系)
- 8 刺激の伝導, 伝達 (神経系と感覚器)
- 9 生殖と発生のしくみ (受精と細胞分裂, 初期発生)
- 10 発生のしくみ
- 11 遺伝の法則
- 12 遺伝子発現 (DNAの構造, 複製, 転写, 翻訳)
- 13 恒常性 I (体液と免疫)
- 14 恒常性 I (ホルモンと自律神経系)
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
306	物理学	1年 後期	外部有識者・作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

私たちの身の回りに存在する「なぜ？」に対して、物理学的に理解し、その学習を通して作業療法士として必要な「基礎知識」と「考える力と伝える力」の習得を目的とする。

【講義内容】

- 1 なぜ物理を学ぶのか？
- 2 ニュートンの法則①
- 3 ニュートンの法則②
- 4 摩擦力・運動量と力積
- 5 仕事とエネルギー
- 6 熱と温度
- 7 熱と温度 応用 1
- 8 熱と温度 応用 2
- 9 力のモーメント 1
- 10 力のモーメント 2
- 11 てこの原理 1
- 12 てこの原理 2
- 13 てこの原理 3
- 14 物理と作業療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
307	英語	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	attitude、20% listening comprehension test, 80% written examination		

【講義目的・内容・計画】

This course will provide students with preparatory skills for everyday medical and social communication in English It will be achieved through self-expression by the students in a classroom atmosphere

【講義内容】

- 1 Introduction of self in a social and formal situation
- 2 Introduction in medico - social situation
- 3 Written registration format and signature practice
- 4 Departure procedure from friends and acquaintances, How to address an envelope for foreign Correspondence
- 5 Terms for internal organs/lay terms for body parts
- 6 Introduction to phonics
- 7 Review
- 8 Lay terms for bones of the skeleton
- 9 Medical terms for bones of skeleton
- 10 Medical and lay terms for skeleton(continued)
- 11 Lay terms and medical terms for joint motion
- 12 Pair practice to conduct a basic medical interview
- 13 Orientation for foreign travel to a medical institute
- 14 Conversation at a medical institute
- 15 Review

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
308	基礎セミナーⅠ	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート		

【講義目的・内容・計画】

職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な「社会人基礎力」について理解する。そして、社会人であり医療人としての「作業療法士」に求められる力を理解する。

【講義内容】

- 1 「働くということ」
- 2 「社会人基礎力」について知る
- 3 「前に踏み出す力（アクション）」について考える
- 4 「考え抜く力（シンキング）」について考える
- 5 「チームで働く力（チームワーク）」について考える
- 6 自身の「社会人基礎力」について考える（自己分析）
- 7 「作業療法士」に求められる力について考える
- 8 社会人・医療人としての行動目標について考える
- 9 「作業療法士」の就職の現状について
- 10 「伝える力」文章を読む・書く力①
- 11 「伝える力」文章を読む・書く力②
- 12 「伝える力」文章を読む・書く力③
- 13 「伝える力」文章を読む・書く力④
- 14 「伝える力」文章を読む・書く力⑤
- 15 「伝える力」文章を読む・書く力⑥

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
309	基礎セミナーⅡ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート		

【講義目的・内容・計画】

社会人として身に着けるべき所作・マナーや行動の際に求められることを理解し、実践できるようになる。

【講義内容】

- 1 社会人として身に着けるべき所作・マナーとは
- 2 社会人としての所作・マナー①
- 3 社会人としての所作・マナー②
- 4 社会人としての所作・マナー③
- 5 社会人としての所作・マナー④
- 6 社会人としての所作・マナー⑤
- 7 社会人としての所作・マナー⑥
- 8 社会人としての所作・マナー⑦
- 9 社会人としての所作・マナー⑧
- 10 作業療法士として「働くということ」
- 11 「理学療法士（理学療法）」とは
- 12 「作業療法士」「理学療法士」の協働を考える 社会人に求められる文章の作成①
- 13 「作業療法士」の職場を知る①
- 14 「作業療法士」の職場を知る②
- 15 「作業療法士」の職場を知る③

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
310	キャリアデザイン学Ⅰ	2年 前期	作業療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度、レポート		

【講義目的・内容・計画】

社会人・医療人としての「作業療法士」に求められるものについて考えを深める。そして「自己分析」を通して行動の目標を定め、自身の将来像を形成していく。

【講義内容】

- 1 「社会人基礎力」振り返り
- 2 キャリアデザインとは①
- 3 キャリアデザインとは
- 4 自身のキャリアデザインについて考える
- 5 就職活動について（作業療法士になるということ）
- 6 自己分析・他己分析①
- 7 自己分析・他己分析②
- 8 行動目標について
- 9 「履歴書」を書く①
- 10 「履歴書」を書く②
- 11 「履歴書」を書く③
- 12 面接について①
- 13 面接について②
- 14 小論文の書き方について
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
311	キャリアデザイン学Ⅱ	2年 後期	作業療法士・外部有識者
成績評価の方法	受講態度、レポート		

【講義目的・内容・計画】

自分の「作業療法士」としてのキャリアデザインを行い、実現するために具体的に行動し準備を進める。

【講義内容】

- 1 「自己分析」「行動目標」の振り返り
- 2 自身のキャリアデザインについて
- 3 オンライン面接について①
- 4 オンライン面接について②
- 5 「履歴書」見直し
- 6 社会人に求められる文章の作成①
- 7 社会人に求められる文章の作成②
- 8 模擬面接①
- 9 模擬面接②
- 10 模擬面接③
- 11 社会人に求められる文章の作成③
- 12 社会人に求められる文章の作成④
- 13 模擬面接④
- 14 模擬面接⑤
- 15 模擬面接⑥

專門基礎分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
321	解剖学Ⅰ	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では、作業療法士が治療対象とする運動に関与する骨学・関節学・筋学について学ぶ。

【講義内容】

- 1 解剖学・総論
- 2 骨学・総論
- 3 骨学・上肢1
- 4 骨学・上肢2
- 5 骨学・上肢3
- 6 骨学・下肢1
- 7 骨学・下肢2
- 8 骨学・下肢3
- 9 骨学・体幹
- 10 骨学・頭蓋
- 11 関節
- 12 靭帯
- 13 筋・総論
- 14 筋・頭頸部
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
322	解剖学Ⅱ	1年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では運動を行い身体を維持するための器官である循環器・脈管・呼吸器・消化器について学ぶ。

【講義内容】

- 1 循環器・脈管1
- 2 循環器・脈管2
- 3 循環器・脈管3
- 4 循環器・脈管4
- 5 循環器・脈管5
- 6 循環器・脈管6
- 7 呼吸器1
- 8 呼吸器2
- 9 呼吸器3
- 10 呼吸器4
- 11 消化器1
- 12 消化器2
- 13 消化器3
- 14 消化器4
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
323	解剖学演習	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

骨学について、体表から骨指標が触知できるようになり、評価につなげる力を身に着ける。循環器・脈管・消化器・呼吸器について学んだことを確認する。

【講義内容】

- 1 上肢 1
- 2 上肢 2
- 3 上肢 3
- 4 上肢まとめ
- 5 下肢 1
- 6 下肢 2
- 7 下肢 3
- 8 体幹 1
- 9 体幹 2
- 10 下肢・体幹まとめ
- 11 循環器 1
- 12 循環器 2
- 13 呼吸器
- 14 消化器
- 15 総合まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
324	解剖学実習	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

解剖学は、人体の形状・構造を研究する学問であり、医学の基礎である。この講義では、作業療法士が治療対象とする運動に関与する筋学、運動や身体全体の機能を調整する神経学を学ぶ。

【講義内容】

- 1 筋学・上肢 1
- 2 筋学・上肢 2
- 3 筋学・骨盤帯
- 4 筋学・下肢 1
- 5 筋学・下肢 2
- 6 筋学・胸部
- 7 筋学・腹部
- 8 筋学・背部
- 9 神経学総論
- 10 中枢神経（脊髄・脳幹・小脳）
- 11 中枢神経（大脳・伝導路 1）
- 12 中枢神経（大脳・伝導路 2）
- 13 末梢神経（脳神経）
- 14 末梢神経（脊髄神経・自律神経）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
325	機能解剖演習	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

各部位での骨格筋を確認し、四肢・体幹の運動を三次元的視点で理解する。運動機能評価の基本となる骨格筋の作用を理解し、表現できるように学ぶ。

【講義内容】

- 1 上肢 1
- 2 上肢 2
- 3 上肢 3
- 4 上肢 4
- 5 上肢のまとめ
- 6 下肢 1
- 7 下肢 2
- 8 下肢 3
- 9 下肢 4
- 10 下肢まとめ
- 11 体幹 1
- 12 体幹 2
- 13 体幹 3
- 14 体幹まとめ
- 15 総合まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
326	生理学 I	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

生理学は生体機能のしくみを対象としており、本講義では循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系について概説し、病態や障害、作業療法に必要な評価・治療を理解する一助として理解を深める。

【講義内容】

- 1 細胞の構造と機能
- 2 血液と体液 1
- 3 血液と体液 2
- 4 循環 1
- 5 循環 2
- 6 呼吸 1
- 7 呼吸 2
- 8 消化と吸収 1
- 9 消化と吸収 2
- 10 尿の生成と排泄
- 11 代謝と体温 1
- 12 代謝と体温 2
- 13 内分泌 1
- 14 内分泌 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
327	生理学Ⅱ	1年 後期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

生理学は生体機能のしくみを対象としており、本講義では、神経系、運動系、感覚系について概説し、病態や障害、作業療法に必要な評価・治療を理解する一助として、理解を深める。

【講義内容】

- 1 神経系の構造
- 2 興奮の伝導
- 3 ナトリウム-カリウムポンプ
- 4 シナプス伝達
- 5 筋の構造
- 6 筋収縮のメカニズム
- 7 随意運動のメカニズム
- 8 中枢神経系
- 9 末梢神経系
- 10 脊髄反射
- 11 体性感覚
- 12 特殊感覚
- 13 運動と呼吸
- 14 自律神経系
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
328	生理学実習	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、レポート課題到達度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

本実習では、主に神経生理学と呼吸・循環生理学の基礎的現象についての理解を深め、作業療法で行われる治療手段の理論的背景を把握する。さらに、実験装置、解析装置の仕組みを理解し、活用できるようにする。

【講義内容】

- 1 オリエンテーション
- 2 心電図 1
- 3 心電図 2
- 4 呼吸 1
- 5 呼吸 2
- 6 血圧 1
- 7 血圧 2
- 8 血糖値 1
- 9 血糖値 2
- 10 筋電図 1
- 11 筋電図 2
- 12 感覚 1
- 13 感覚 2
- 14 呼気ガス分析
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
329	運動学Ⅰ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、中間試験、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

人間の体の動きや動作の仕組みを理解することを目的とする。筋と関節の解剖から人間の動きを分析していき、今後の作業療法の評価・治療への糸口とする

【講義内容】

- 1 関節の構造
- 2 上肢帯と上肢の運動
- 3 肩関節の運動・筋
- 4 肘関節の運動・筋
- 5 手関節の運動・筋
- 6 手内筋、外在筋、上肢まとめ
- 7 股関節の運動・筋
- 8 膝関節の運動・筋・靭帯
- 9 足関節の運動・筋
- 10 姿勢・アライメント、重心について
- 11 重心線、支持基底面について
- 12 バランス機能、トルクについて
- 13 てこについて
- 14 身体のてこについて
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
330	運動学Ⅱ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、中間試験、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

身体における各関節構造を理解し、運動を骨・関節および筋活動の立場から捉え、日常生活活動の評価や治療の基礎的知識を提供する。

【講義内容】

- 1 体幹の運動学 1
- 2 体幹の運動学 2
- 3 体幹の運動学 3
- 4 体幹の運動学 4
- 5 頭部・顔面の運動学 1
- 6 頭部・顔面の運動学 2
- 7 姿勢 1
- 8 姿勢 2
- 9 中間試験
- 10 歩行 1
- 11 歩行 2
- 12 歩行 3
- 13 走行
- 14 運動学習
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
331	発達障害学	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、中間試験、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

様々な機能発達について理解を深め、発達障害やその他の小児疾患に対する作業療法を行うための基礎を学ぶ。また、意思表示が困難な小児に対する評価方法や関わり方を学ぶ。

【講義内容】

- 1 オリエンテーション
- 2 正常発達1
- 3 正常発達2
- 4 正常発達3
- 5 反射1
- 6 反射2
- 7 上肢機能
- 8 中間試験
- 9 口腔機能の発達 コミュニケーションの発達
- 10 セルフケアの発達 遊びの発達
- 11 感覚統合の発達1
- 12 感覚統合の発達2
- 13 発達障害と作業療法1
- 14 発達障害と作業療法2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
332	身体機能学 I	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

身体を構成する組織・器官を筋・骨格系（運動器）、神経系、内蔵諸器官系に大別し、これらの構造と機能について学ぶ。

【講義内容】

- 1 細胞の構造と機能
- 2 血液の組成と機能
- 3 循環器（心臓・血管など）の構造と機能
- 4 呼吸器（気管支、肺など）の構造と機能
- 5 消化器（胃・腸・肝臓など）の構造と機能
- 6 泌尿器（腎臓など）の構造と機能
- 7 内臓器官（内分泌器・生殖器など）の構造と機能
- 8 骨の構造（上肢1）
- 9 骨の構造（上肢2）
- 10 骨の構造（下肢1）
- 11 骨の構造（下肢2）
- 12 骨の構造（体幹）
- 13 関節の構造と機能
- 14 靭帯の構造と機能
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
333	身体機能学Ⅱ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

対象理解のために必要な病因・病態や生体反応について学ぶ。

【講義内容】

- 1 末梢神経の構造と機能 1
- 2 末梢神経の構造と機能 2
- 3 中枢神経の構造と機能 1
- 4 中枢神経の構造と機能 2
- 5 筋の構造と機能 1
- 6 筋の構造と機能 2
- 7 感覚器の構造と機能
- 8 筋の構造（上肢1）
- 9 筋の構造（上肢2）
- 10 筋の構造（下肢1）
- 11 筋の構造（下肢2）
- 12 筋の構造（体幹）
- 13 姿勢、歩行
- 14 神経系の構造
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
334	病理学	2年 前期	外部有識者
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

作業療法に必要な疾患の原因、病変、経過、転帰などの本質を理解するための知識を学ぶ。

【講義内容】

- 1 退行性病変と代謝異常 1
- 2 退行性病変と代謝異常 2
- 3 循環障害
- 4 進行性病変
- 5 感染症
- 6 老化
- 7 炎症 1
- 8 炎症 2
- 9 免疫 1
- 10 免疫 2
- 11 腫瘍 1
- 12 腫瘍 2
- 13 先天異常 1
- 14 先天異常 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
335	精神障害学	2年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

こころの病気についての特徴について学び、作業療法の評価・治療のための知識・理解を深める。

【講義内容】

- 1 精神疾患総論、精神医学的検査・診断法
- 2 心理検査
- 3 心理療法
- 4 統合失調症
- 5 統合失調症
- 6 精神保健Ⅰ
- 7 精神保健Ⅱ
- 8 対人支援
- 9 神経症性障害・ストレス関連障害
- 10 老年期精神障害
- 11 小児期精神障害・精神遅滞
- 12 精神保健福祉と医療
- 13 地域移行支援
- 14 気分障害・てんかん
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
336	神経内科障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

神経疾患とは中枢神経（脳・脊髄）、末梢神経および筋の疾患を総称する。これらの疾患は運動機能を障害するため、リハビリテーションが必要となる。この講義では、脳機能の局在、意識とその障害について理解し、検査・治療（薬物治療を含む）について学ぶ。

【講義内容】

- 1 脳の病態
- 2 補助診断法
- 3 脳腫瘍
- 4 頭部外傷
- 5 脳血管障害
- 6 水頭症
- 7 先天奇形
- 8 認知症・高次脳機能障害
- 9 変性疾患：パーキンソン病
- 10 変性疾患：脊髄小脳変性症
- 11 脱髄疾患
- 12 末梢神経障害・感染疾患
- 13 筋疾患：筋ジストロフィー
- 14 脊椎・脊髄疾患
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
337	骨関節障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

リハビリテーションを行う上で重要な整形外科分野の疾患に関し、最近のトピックスや診察（画像診断を含む）・治療（手術、薬物治療など）の現状を交えながら学習する。

【講義内容】

- 1 骨粗鬆症
- 2 骨折①
- 3 骨折②
- 4 末梢神経損傷 上・下肢
- 5 膝OA、TKA
- 6 股OA、THA、大腿骨頸部骨折
- 7 リウマチ
- 8 腰椎椎間板ヘルニア
- 9 脊柱管狭窄症、すべり症
- 10 頸椎症、頸髄症
- 11 頸椎椎間板ヘルニア、OPLL
- 12 骨腫瘍、緩和ケア
- 13 脊髄損傷
- 14 その他の疾患
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
338	医学・医療概説	1年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

日本における医学の構成と医療の構成を整理し、それらの実践に不可欠である医学倫理と現行の保険制度を理解する。本校の各専門基礎分野講義の理解を深めるために最低限の基礎生理学を学ぶ。また、生命維持・活動のための栄養の基礎知識、予防について学ぶ。

【講義内容】

- 1 医学・医療の構成、予防医学
- 2 医学・医療の構成と医療従事者
- 3 生命の基礎構成・栄養①
- 4 生命の基礎構成・栄養②
- 5 医学・医療倫理 ①
- 6 医学・医療倫理 ②
- 7 医学・医療倫理 ③
- 8 医学・医療倫理 ④
- 9 心臓生理学の基礎①
- 10 心臓生理学の基礎②
- 11 呼吸生理学の基礎(スポーツ医学生理の基礎)①
- 12 呼吸生理学の基礎(スポーツ医学生理の基礎)②
- 13 神経生理学の基礎①
- 14 神経生理学の基礎②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
339	外科系障害学	2年 前期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

作業療法の対象となる代表的な外科的治療対象となる疾患の病態を知り、どのような医学的検査（画像診断を含む）・治療（薬物療法を含む）が行われているかを学習する。そして、各疾患に必要なリハビリテーション医療についての理解を深める。

【講義内容】

- 1 心臓外科① 手術
- 2 心臓外科② 先天性心疾患
- 3 心臓外科③ 先天性心疾患
- 4 心臓外科④ 後天性心疾患
- 5 血管外科① 動脈疾患
- 6 血管外科② 静脈疾患
- 7 心臓リハビリテーション
- 8 脳外科①
- 9 脳外科②
- 10 脳外科③
- 11 小児整形外科①
- 12 小児整形外科②
- 13 小児整形外科③
- 14 小児整形外科④
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
340	内科系障害学	2年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

成人・小児の内科的疾患の病態生理や症状、検査（画像診断を含む）・治療（薬物治療を含む）を学び、各疾患に対し作業療法を行えるよう、そして、内科的疾患を合併する対象者への安全で効果的な対応につなげる。

【講義内容】

- 1 内科総論
- 2 呼吸器内科①
- 3 呼吸器内科②
- 4 循環器内科①
- 5 循環器内科②
- 6 内分泌内科
- 7 消化器内科
- 8 腎臓内科
- 9 小児科総論
- 10 小児科：先天性異常・先天性代謝異常
- 11 小児科：てんかん・神経疾患
- 12 小児科：循環器疾患・呼吸器疾患・感染症
- 13 小児科：消化器疾患・内分泌・代謝疾患
- 14 小児科：悪性腫瘍・腎疾患・重症心身障がい
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
341	身体機能障害学Ⅰ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

主な治療対象となる疾患について、病因、病態生理、症候、評価を学ぶ。

【講義内容】

- 1 評価 1
- 2 評価 2
- 3 中枢神経障害 1
- 4 中枢神経障害 2
- 5 末梢神経障害
- 6 骨関節障害 1
- 7 骨関節障害 2
- 8 解剖学総論 1
- 9 解剖学総論 2
- 10 生理学総論 1
- 11 生理学総論 2
- 12 運動学総論 1
- 13 運動学総論 2
- 14 老年期障害
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
342	身体機能障害学Ⅱ	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

臨床において効果的な治療をを実践する上で必要となる、機能障害の病態やそのメカニズムを理解する。

【講義内容】

- 1 中枢疾患の作業療法 1
- 2 中枢疾患の作業療法 2
- 3 精神疾患の作業療法 1
- 4 精神疾患の作業療法 2
- 5 精神疾患の作業療法 3
- 6 運動発達障害 1
- 7 運動発達障害 2
- 8 脳血管障害
- 9 脊髄損傷
- 10 骨折
- 11 代謝障害
- 12 循環器障害
- 13 炎症、免疫
- 14 腫瘍、先天異常
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
343	リハビリテーション概論	1年 前期	医師・理学療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

リハビリテーションの起源から現在のリハビリテーションの定義・意義を知り、社会における作業療法の役割を理解する。また、リハビリテーションが対象となる疾患の基礎と具体的な理学療法・作業療法を理解することで、より専門的な授業を修得しやすくする。

【講義内容】

- 1 リハビリテーションの起源と意味
- 2 チーム医療とリハビリテーション関連職種
- 3 リハビリテーションの為の医学的基礎知識①
- 4 リハビリテーションの為の医学的基礎知識②
- 5 理学療法について
- 6 作業療法について
- 7 障害とは (ICIDH)
- 8 障害とは (ICF)
- 9 機能障害の評価①
- 10 機能障害の評価②
- 11 整形外科疾患とリハビリテーション
- 12 脳血管障害とリハビリテーション
- 13 内臓疾患とリハビリテーション
- 14 救急救命
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
344	リハビリテーション医学	1年 後期	医師
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

リハビリテーションの理念に沿ったリハビリテーション医療の全体を把握するとともに、各専門職の役割とチームアプローチの重要性を学ぶ。さらに、リハビリテーション医療が治療対象とする様々な障害の病態を理解し、その評価と治療についての知識を深める。

【講義内容】

- 1 リハビリテーション医学・医療の流れ
- 2 リハビリテーション診療 ①ADL評価
- 3 リハビリテーション診療 ②画像診断学
- 4 リハビリテーション診療 ③電気診断学
- 5 リハビリテーション診療 ④治療
- 6 障害の評価と治療 ①廃用症候群
- 7 障害の評価と治療 ②運動障害と歩行障害
- 8 障害の評価と治療 ③循環機能障害と呼吸の障害
- 9 障害の評価と治療 ④摂食・嚥下障害とリハ栄養・褥瘡
- 10 障害の評価と治療 ⑤排尿障害と腎障害
- 11 障害の評価と治療 ⑥痙縮・固縮
- 12 障害の評価と治療 ⑦高次脳機能障害
- 13 障害の評価と治療 ⑧加齢による障害と発達障害
- 14 障害の評価と治療 ⑨障害受容
- 15 まとめ

専門分野

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
351	作業療法概論	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、小テスト		

【講義目的・内容・計画】

作業療法の概要について学習し、保健・医療・福祉の中での作業療法の役割について理解を深める。
治療概念（ICF・MTDLP）について知り、それぞれの作業療法支援を知る

【講義内容】

- 1 作業療法士とチーム医療
- 2 作業療法の歴史
- 3 作業療法の理論 1
- 4 作業療法の理論 2（ICF）
- 5 作業療法の理論 3（MTDLP）
- 6 治療手段の作業 1
- 7 治療手段の作業 2
- 8 作業療法と身体障害分野（急性期）
- 9 作業療法と身体障害分野（回復期）
- 10 作業療法と高齢者分野（老人保健施設）
- 11 作業療法と高齢者分野（通所介護）
- 12 作業療法と高齢者分野（介護予防）
- 13 作業療法と就労支援
- 14 認知症サポーターについて
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
352	基礎作業学	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、発表、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

作業療法を実施していく中で、作業活動がどのように用いられているのかを知る。作業療法の分析手法や主な治療モデル・作業療法理論について学ぶ。

【講義内容】

- 1 ICFとICIDH
- 2 ICFの分類
- 3 クライエント中心の実践
- 4 カナダ作業モデル（COPM等）
- 5 人間作業モデル（OSAとMOHOST等）
- 6 作業療法介入プロセスモデル（AMPS等）
- 7 行動変容
- 8 作業について
- 9 作業療法の理論 1
- 10 作業療法の理論 2
- 11 理論に基づく評価
- 12 作業療法の紹介
- 13 作業科学 1
- 14 作業科学 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
353	基礎作業学実習	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度		

【講義目的・内容・計画】

- ①規則の順守、責任を持った行動や節度のある態度をとるなどの社会性を身につける
- ②施設等での対象者との関わりを通してコミュニケーション能力や専門的知識を深める。

【講義内容】

- 1 外部実習1：コミュニケーション実技1
- 2 外部実習2：コミュニケーション実技2
- 3 外部実習3：コミュニケーション実技3
- 4 外部実習4：コミュニケーション実技4
- 5 外部実習5：コミュニケーション実技5
- 6 外部実習6：コミュニケーション実技6
- 7 外部実習7：施設の役割
- 8 外部実習8：テクニカルエイドと姿勢保持
- 9 外部実習9：入浴・排泄動作、移乗
- 10 外部実習10：コミュニケーションと自動車
- 11 面接練習1
- 12 面接練習2
- 13 MTDLP演習1
- 14 MTDLP演習2
- 15 障がい者スポーツボランティア（風船バレーボール大会）

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
354	作業療法管理学	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

作業療法を実施する上で職場倫理および職場管理の視点について知る。

- ①医療の安全管理、組織管理、作業療法に必要な倫理について学ぶ。
- ②医療・福祉に関する制度を理解し、各分野でのマネジメントについて学ぶ。

【講義内容】

- 1 リスク管理1（医療事故、危険察知トレーニングについて）
- 2 リスク管理2（事故発生時の対応、対応策など）
- 3 リスク管理3（事例検討、報告書の書き方など）
- 4 情報管理について1（守秘義務、個人情報保護）
- 5 情報管理について2（診療録の記載、保存）
- 6 情報管理について3（診療情報の開示、データの扱い方）
- 7 医療組織について1（病院機構、病院組織、OT業務について）
- 8 医療組織について2（備品管理、5Sについて）
- 9 感染対策（標準予防策、感染症の理解）
- 10 災害時の作業療法士の役割
- 11 マネジメント管理1（診療報酬、保険制度）
- 12 マネジメント管理2（他職種、多職種連携について）
- 13 作業療法士としての倫理1（日本作業療法士協会倫理規定、ハラスメントについて）
- 14 作業療法士としての倫理2（人権、法律、インフォームドコンセントについて）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
355	作業療法評価学実習 I	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、実技試験		

【講義目的・内容・計画】

臨床場面でよく用いられる評価の知識・技術を習得する。

【講義内容】

- 1 コミュニケーション技法(見学)
- 2 コミュニケーション技法(模倣)
- 3 コミュニケーション技法(実施)
- 4 脈拍と血圧測定(見学)
- 5 脈拍と血圧測定(模倣)
- 6 脈拍と血圧測定(実施)
- 7 療法士面接(見学)
- 8 療法士面接(模倣)
- 9 療法士面接(実施)
- 10 形態測定(見学)
- 11 形態測定(模倣)
- 12 形態測定(実施)
- 13 ROM肩(見学)
- 14 ROM肩(模倣)
- 15 ROM肩(実施)

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
356	作業療法評価学実習 II	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、実技試験		

【講義目的・内容・計画】

臨床でよく用いられる評価の知識・技術を習得する。

【講義内容】

- 1 関節可動域測定(肘・手)
- 2 関節可動域測定(股・膝・足)
- 3 関節可動域測定(体幹・頸・復習)
- 4 関節可動域測定(実技試験)
- 5 反射検査(見学)
- 6 反射検査(模倣)
- 7 反射検査(実施)
- 8 感覚検査(見学)
- 9 感覚検査(模倣)
- 10 感覚検査(実施)
- 11 筋の触診(見学)
- 12 筋の触診(模倣)
- 13 筋の触診(実施)
- 14 MMSE,HDS-R,FAB
- 15 TMT,かなひろい,KBDT

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
357	作業療法評価学実習Ⅲ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、実技試験		

【講義目的・内容・計画】

定型的な評価方法や、脳血管障害などの作業療法での治療立案までを学ぶ。またロールプレイ（役割演技）を通して実践場面での留意事項などを身に付ける。

【講義内容】

- 1 立位バランス(模倣)
- 2 立位バランス(実施)
- 3 立位バランス(見学)
- 4 徒手筋力テスト(肩)3～5
- 5 徒手筋力テスト(肘・手)3～5
- 6 徒手筋力テスト(股・膝・足・体幹)3～5
- 7 徒手筋力テスト(上肢)0～2
- 8 徒手筋力テスト(下肢・その他)0～2
- 9 徒手筋力テスト（総復習）
- 10 徒手筋力テスト（実技試験）
- 11 MTDLP各シート説明、聞き取り演習
- 12 演習事例読み取り、すり合わせ分析シート、重要性の決定
- 13 アセスメント演習シート作成
- 14 プラン演習シートの作成、発表
- 15 実技試験

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
358	日常生活動作学Ⅰ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、中間試験、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

ADLとIADLの概念を学ぶ。また、片麻痺・脊髄損傷・パーキンソン病を中心に一般的な作業療法の支援方法を知る。

【講義内容】

- 1 ADLとIADL、OTの役割
- 2 食事動作の問題点と援助の視点
- 3 整容、更衣動作の問題点と援助の視点
- 4 排泄動作の問題点と援助の視点
- 5 入浴動作の問題点と援助の視点
- 6 歩行動作の問題点と援助の視点
- 7 福祉用具について（外部研修）
- 8 中間試験
- 9 基本動作、ポジショニングについて 1
- 10 基本動作、ポジショニングについて 2
- 11 家事動作の問題点と援助の視点
- 12 グループ発表
- 13 ADLの評価 1
- 14 ADLの評価 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
359	日常生活動作学Ⅱ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、提示課題到達度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

作業療法の生活支援やADL評価の過程について学ぶ。また、福祉用具や他職種との関わりについて知識を深める。

【講義内容】

- 1 作業療法におけるADLの自立とは
- 2 評価の解釈と目標設定
- 3 祖父母の生活 評価
- 4 祖父母の生活 まとめ・発表
- 5 ADL評価の実践 1
- 6 ADL評価の実践 2
- 7 動作観察と記録 1
- 8 動作観察と記録 2
- 9 福祉用具の作成
- 10 脊髄損傷患者の人生設計 1
- 11 脊髄損傷患者の人生設計 2
- 12 住宅改修 1(外部研修)
- 13 住宅改修 2(外部研修)
- 14 他職種との連携、リスク管理
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
360	日常生活動作学実習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、中間試験、実技試験		

【講義目的・内容・計画】

障害別援助方法について実習を通して学ぶ。また住宅改修等の知識を深めることで、実際の在宅生活における作業療法について学ぶ

【講義内容】

- 1 作業療法の経過 1
- 2 作業療法の経過 2
- 3 中枢疾患患者のADL 1
- 4 中枢疾患患者のADL 2
- 5 パーキンソン病のADL 1
- 6 パーキンソン病のADL 2
- 7 整形疾患患者のADL 1
- 8 整形疾患患者のADL 2
- 9 中間試験
- 10 能力低下に対する介入技能(起居・起立)
- 11 能力低下に対する介入技能(移乗・車椅子駆動)
- 12 能力低下に対する介入技能(歩行)
- 13 能力低下に対する介入技能(食事)
- 14 能力低下に対する介入技能(更衣)
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
361	身体障害作業療法学Ⅰ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

身体障害領域で関わる疾病や外傷の紹介と、急性期から生活期までの作業療法介入の考え方、手順、流れなどについてすすめていく。

【講義内容】

- 1 総論
- 2 骨関節障害の作業療法①
- 3 骨関節障害の作業療法②
- 4 骨関節障害の作業療法③
- 5 関節リウマチの作業療法①
- 6 関節リウマチの作業療法②
- 7 関節リウマチの作業療法③
- 8 末梢神経損傷の作業療法①
- 9 末梢神経損傷の作業療法③
- 10 末梢神経損傷の作業療法②
- 11 脳血管障害の作業療法①
- 12 脳血管障害の作業療法②
- 13 変性疾患の作業療法①
- 14 変性疾患の作業療法②
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
362	身体障害作業療法学Ⅱ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

脳血管障害を中心に各疾病・外傷の障害についての理解と、作業療法アプローチについて理解する。

【講義内容】

- 1 総論
- 2 脳血管障害の作業療法①
- 3 脳血管障害の作業療法②
- 4 脳血管障害の作業療法③
- 5 脳血管障害の作業療法④
- 6 脊髄損傷の作業療法①
- 7 脊髄損傷の作業療法②
- 8 脊髄損傷の作業療法③
- 9 変性疾患の作業療法①
- 10 変性疾患の作業療法②
- 11 変性疾患の作業療法③
- 12 内部障害の作業療法①
- 13 内部障害の作業療法②
- 14 内部障害の作業療法③
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
363	身体障害作業療法学実習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、グループ発表、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

臨床場面で接する機会が多い脳血管障害を中心にして作業療法のアプローチを考える。その中で作業療法士が対象者の何をどの様に働きかけるかを考え、あらゆる疾患のあらゆる時期に共通する事を知る。またMOHO・AMPS・COPMといった、新しい概念・評価法を学習し、臨床場面での使用について学習する。

【講義内容】

- 1 本講義の紹介。事例検討1-事例紹介
- 2 事例検討1のケースを評価するために必要な知識の整理。評価項目の選定
- 3 事例検討1のICF・問題点・目標の検証。プログラムの実技演習
- 4 事例検討1のICF・問題点・目標の検証、プログラムの実技演習
- 5 事例検討2-事例紹介
- 6 事例検討3のICF・問題点・目標の検証、プログラムの実技演習
- 7 COPMの紹介、使用方法のデモ、使用演習、トップダウンアプローチを考える
- 8 COPMのまとめ発表
- 9 動作分析（ビデオを見ての解析）－AMPSの紹介
- 10 動作分析（ビデオを見ての解析）－AMPSの体験
- 11 MOHO（概論）
- 12 MOHO（事例を通しての学習）、評価法MOHOSTの紹介・試行
- 13 MOHO 評価法OSA・VQの紹介・試行
- 14 ADLストラテジーを考える（学習理論）
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
364	精神障害作業療法学	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

精神障害に対する作業療法の役割・治療構造を理解し、知識・技術を習得する。

【講義内容】

- 1 オリエンテーション
- 2 精神障害と身体障害との比較
- 3 治療・援助者に求められること
- 4 精神障害作業療法の視点
- 5 精神障害作業療法の治療・援助構造 1
- 6 精神障害作業療法の治療・援助構造 2
- 7 集団・場の利用
- 8 精神障害作業療法の形態
- 9 作業療法の手順
- 10 評価すること
- 11 ICFを用いた生活機能の評価
- 12 急性期の作業療法
- 13 回復期の作業療法
- 14 退院支援の作業療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
365	精神障害作業療法学実習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

実践的な講義から、精神障害に対する作業療法の役割・治療構造の知識・技術の理解を深め、評価・治療することができる。

【講義内容】

- 1 統合失調症の作業療法1
- 2 統合失調症の作業療法2
- 3 うつ病の作業療法
- 4 双極性障害の作業療法
- 5 摂食障害の作業療法
- 6 パーソナリティ障害の作業療法
- 7 依存症の作業療法
- 8 認知障害の作業療法
- 9 児童・思春期の精神障害における作業療法
- 10 事例検討1
- 11 事例検討2
- 12 事例検討3
- 13 事例検討4
- 14 事例検討5
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
366	発達障害作業療法学	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

発達障害の歴史や必要な基礎知識および治療理論や具体的評価と評価技術を学ぶ

【講義内容】

- 1 発達障害に対する作業療法の役割、評価について
- 2 特別支援学校における作業療法の関わり、脳性麻痺の概論
- 3 脳性麻痺の作業療法について
- 4 脳性麻痺(者)への作業療法の実際 1
- 5 脳性麻痺(者)への作業療法療法の実際 2
- 6 脳性麻痺(者)への作業療法療法の実際 3
- 7 脳性麻痺(者)への作業療法療法の実際 4
- 8 重症心身障害児(者)について
- 9 自閉症スペクトラムの概論
- 10 自閉症スペクトラムに対する作業療法について
- 11 筋ジストロフィーの概論
- 12 筋ジストロフィーのポジショニングと姿勢
- 13 筋ジストロフィーの座位姿勢と手の動き、日常生活動作(グループワーク)
- 14 筋ジストロフィーの座位姿勢と手の動き、日常生活動作(発表)
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
367	発達障害作業療法学演習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

発達障害に対する各疾患別の作業療法評価—治療を実技やレポート発表を踏まえて学ぶ。

【講義内容】

- 1 発達障害での疾患別臨床像
- 2 発達障害作業療法の実践について
- 3 脳性麻痺の作業療法の実際
- 4 重複障害の作業療法の実際 1
- 5 重複障害の作業療法の実際 2
- 6 重複障害の作業療法の実際 3
- 7 精神発達障害の作業療法の実際 1
- 8 精神発達障害の作業療法の実際 2
- 9 精神発達障害の作業療法の実際 3
- 10 注意欠如多動性障害の作業療法
- 11 学習障害の作業療法
- 12 事例検討 1
- 13 事例検討 2
- 14 事例検討 3
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
368	作業療法研究方法論	3年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、事例報告評価点		

【講義目的・内容・計画】

症例報告書作成を通して専門職として必要な科学的思考や論理性について学習する。また統計学の基礎を学ぶ。

【講義内容】

- 1 研究について
- 2 研究の倫理と管理
- 3 事例①症例シート作成
- 4 事例①文献抄読
- 5 事例①報告書作成 1
- 6 事例①報告書作成 2
- 7 事例①症例報告会 1
- 8 事例①症例報告会 2
- 9 事例②症例シート作成
- 10 事例②文献抄読
- 11 事例②報告書作成 1
- 12 事例②報告書作成 2
- 13 事例②症例報告会 1
- 14 事例②症例報告会 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
369	作業療法研究方法論演習	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、事例報告評価点		

【講義目的・内容・計画】

事例発表を通して専門職として必要な科学的思考や倫理性について学習する。また、研究テーマやデータの取り方、データの解析について学ぶ。

【講義内容】

- 1 パワーポイント作成 1
- 2 パワーポイント作成 2
- 3 パワーポイント作成 3
- 4 事例報告会 1
- 5 事例報告会 2
- 6 事例報告会 3
- 7 事例報告会 4
- 8 研究疑問と研究の様式
- 9 研究の流れ
- 10 文献的研究および理論的研究について
- 11 調査的研究について
- 12 実験的研究について 1
- 13 実験的研究について 2
- 14 シングルケール実験法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
370	作業療法治療学演習 I	1年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、小テスト		

【講義目的・内容・計画】

- ①作業活動の特性を知り、作業活動を用いた治療・援助・指導方法を学ぶ。
- ②作業活動の特性を知り、作業工程を理解し、説明できるようにする。
- ③作業活動をどのように治療に用いるのか、理解する。

【講義内容】

- 1 作業活動について
- 2 マクラメ
- 3 作業分析1 (マクラメ)
- 4 治療的応用1 (マクラメ)
- 5 革細工1
- 6 革細工2
- 7 作業分析2 (革細工)
- 8 治療的応用2 (革細工)
- 9 ネット手芸
- 10 作業分析3 (ネット手芸)
- 11 治療的応用3 (ネット手芸)
- 12 アンデルセン
- 13 作業分析4 (アンデルセン)
- 14 治療的応用4 (アンデルセン)
- 15 小テスト、症例検討、まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
371	作業療法治療学演習Ⅱ	1年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

- ①高次脳機能障害について学ぶ
- ②運動療法学全般を学び、作業療法治療へ活用できるよう学ぶ

【講義内容】

- 1 高次脳機能障害総論
- 2 高次脳機能障害各論 1 (注意・記憶・知能)
- 3 高次脳機能障害各論 2 (半側空間無視)
- 4 高次脳機能障害各論 3 (失語・失行)
- 5 高次脳機能障害各論 4 (遂行機能障害)
- 6 高次脳機能障害各論 5
- 7 高次脳機能・小テストフィードバック
- 8 運動療法総論 1
- 9 運動療法総論 2
- 10 運動と呼吸、持久力増強運動
- 11 関節可動域運動の総論 1
- 12 関節可動域運動の総論 2
- 13 筋力増強運動の総論 1
- 14 筋力増強運動の総論 2
- 15 運動療法・小テストフィードバック

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
372	作業療法治療学演習Ⅲ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

- ①高次脳機能障害について学びを深め、治療・応用できるよう身に付ける
- ②義肢学・装具学全般について理解し、知識を深める。名称・目的を理解したうえで、機能及び適応について学ぶ。実物や写真の利用と実技を取り入れた学習で、理解を深める。

【講義内容】

- 1 高次脳機能障害各論 1
- 2 高次脳機能障害各論 2
- 3 高次脳機能障害治療学 1
- 4 高次脳機能障害治療学 2
- 5 高次脳機能障害治療学 3
- 6 義肢装具学概論
- 7 義手の適応疾患
- 8 切断者のADL
- 9 体幹・下肢装具
- 10 上肢装具・スプリントの種類と適応疾患 (末梢神経損傷)
- 11 上肢装具・スプリントの種類と適応疾患 (手の外科、骨折)
- 12 スプリント作成 (実技 1)
- 13 スプリント作成 (実技 2)
- 14 スプリント作成 (実技 3)
- 15 まとめ (高次脳機能障害、義肢装具学)

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
373	作業療法治療学演習IV	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、実技試験		

【講義目的・内容・計画】

- ①作業療法における管理全般について理解を深め、説明できる
- ②模擬症例を通して一般的な治療方法について学ぶ
- ③生活行為向上マネジメント(MTDLP)について学ぶ

【講義内容】

- 1 オリエンテーション
- 2 実技復習・症例提示
- 3 症例提示
- 4 評価計画立案
- 5 評価実施1-1
- 6 評価実施1-2
- 7 評価実施1-3
- 8 レポートまとめ1
- 9 評価実施2-1
- 10 評価実施2-2
- 11 評価実施2-3
- 12 レポートまとめ2
- 13 症例シートまとめ
- 14 報告会1
- 15 報告会2

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
374	作業療法治療学実習	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、実技試験		

【講義目的・内容・計画】

模擬症例を通じて初期評価を行い、治療方法について検討し、理解を深める。

【講義内容】

- 1 オリエンテーション・リスク管理症例提示・実技復習
- 2 症例1初期評価①
- 3 症例1初期評価②
- 4 症例1初期評価③
- 5 症例1治療実践①
- 6 症例1治療実践②
- 7 症例1最終評価①
- 8 吸痰・吸引実技
- 9 画像評価
- 10 症例2初期評価①
- 11 症例2初期評価②
- 12 症例2初期評価③
- 13 症例2治療実践①
- 14 症例2治療実践②
- 15 症例2最終評価①

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
375	作業療法治療技術学 I	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

解剖学・生理学を中心に基礎医学分野の知識を再確認し、作業療法治療技術の基礎を学ぶ。

【講義内容】

- 1 骨の基礎・骨の連結
- 2 筋の構造と機能
- 3 神経の興奮伝達、反射と筋活動
- 4 中枢神経系
- 5 末梢神経系
- 6 支配神経
- 7 感覚
- 8 呼吸器系の解剖
- 9 呼吸器系の生理、呼吸運動
- 10 循環器系の解剖
- 11 循環器系の生理、リンパ
- 12 消化器系
- 13 代謝、体温
- 14 発生、ホルモン
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
376	作業療法治療技術学 II	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

運動学等の専門基礎分野と内科学中心に知識を再確認し、作業療法治療技術の基礎を学ぶ。

【講義内容】

- 1 運動学：上肢の関節
- 2 運動学：下肢の関節
- 3 運動学：脊柱と体幹の筋
- 4 運動学：姿勢
- 5 運動学：歩行
- 6 病理学：循環障害、炎症
- 7 病理学：免疫機構とアレルギー
- 8 病理学：疾患と病因、感染症
- 9 人間発達学：発達段階
- 10 人間発達学：反射・反応
- 11 内科学：循環器疾患
- 12 内科学：呼吸器疾患、消化器疾患
- 13 内科学：代謝性疾患、アレルギー疾患
- 14 内科学：腫瘍、がん、廃用症候群
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
377	作業療法治療技術学Ⅲ	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

臨床医学分野を中心に知識を再確認し、作業療法治療技術の基礎を学ぶ。

【講義内容】

- 1 神経内科学：神経症候学
- 2 神経内科学：神経疾患各論
- 3 神経内科学：筋疾患
- 4 整形外科学：骨折、小児整形外科
- 5 整形外科学：変形性関節症、末梢神経損傷等
- 6 整形外科学：脊髄損傷
- 7 リハビリテーション概論
- 8 臨床心理学：防衛機制、転移と逆転移
- 9 臨床心理学：心理検査、記憶
- 10 臨床心理学：心理療法、発達
- 11 精神医学：統合失調症
- 12 精神医学：気分障害
- 13 精神医学：神経症性障害、心理的発達障害
- 14 精神医学：てんかん、物質依存等
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
378	作業療法治療技術学Ⅳ	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、中間試験、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

評価学等の作業療法に関する知識・技術を確認し、一層の習熟と発展を図る。また、対象者の自立生活を支援するために必要な問題解決能力を養う。

【講義内容】

- 1 MMT
- 2 ROM
- 3 脳卒中片麻痺、感覚の評価
- 4 高次脳機能障害、認知症の評価
- 5 精神障害の評価 1
- 6 精神障害の評価 2
- 7 発達障害の評価
- 8 ADL,QOL等の評価
- 9 中間試験
- 10 基礎作業療法 1
- 11 基礎作業療法 2
- 12 義肢装具
- 13 住環境、福祉用具
- 14 地域作業療法
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
379	作業療法治療技術学V	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、中間試験、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

中枢疾患等の専門分野の知識を整理し、具体的な作業療法の治療について学び、知識を身につける。

【講義内容】

- 1 中枢疾患 (CVA)
- 2 中枢疾患 (脊髄損傷)
- 3 中枢疾患 (高次脳機能障害)
- 4 中枢疾患 (その他)
- 5 骨関節障害 1
- 6 骨関節障害 2
- 7 内部障害 1
- 8 内部障害 2
- 9 中間試験
- 10 神経筋障害 1
- 11 神経筋障害 2
- 12 発達障害
- 13 運動発達障害 1
- 14 運動発達障害 2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
380	作業療法治療技術学VI	3年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、中間試験、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

精神疾患等の作業療法に関する知識・技術を確認し、一層の習熟と発展を図る。人とこころの構造を系統立てて理解し、対象者の自立生活を支援するために必要な問題解決能力を養う。

【講義内容】

- 1 統合失調症 1
- 2 統合失調症 2
- 3 器質性精神障害 1
- 4 器質性精神障害 2
- 5 気分障害 1
- 6 気分障害 2
- 7 神経症性障害
- 8 中間試験
- 9 ストレス関連障害、身体表現性障害
- 10 物質依存
- 11 パーソナリティ障害
- 12 摂食障害
- 13 てんかん
- 14 老年医学
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
381	地域作業療法学Ⅰ	2年 前期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

地域生活を支援するにあたり活躍している作業療法士より講義頂き、地域支援の実情について学ぶ

①回復期の作業療法や介護老人保健施設(入所・通所)の作業療法について学ぶと同時に、地域包括ケアシステムについて理解する。②認知症の作業療法について学ぶ。③介護保険制度について学ぶ。

【講義内容】

- 1 回復期の作業療法（地域包括ケアシステム）について1
- 2 回復期の作業療法（地域包括ケアシステム）について2
- 3 回復期の作業療法（地域包括ケアシステム）について3
- 4 介護老人保健施設の作業療法について1
- 5 介護老人保健施設の作業療法について2
- 6 介護老人保健施設の作業療法について3
- 7 認知症を取り巻く社会情勢・介護保険制度について理解する
- 8 認知症についての基礎知識を理解する
- 9 認知症の症状と対応・リスクについて理解する
- 10 認知症患者の評価・アセスメントについて理解する
- 11 認知症のアプローチについて理解する1
- 12 認知症のアプローチについて理解する2
- 13 通所リハビリテーションの作業療法について1
- 14 通所リハビリテーションの作業療法について2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
382	地域作業療法学Ⅱ	2年 後期	作業療法士
成績評価の方法	受講態度、レポート課題到達度、小テスト、定期試験		

【講義目的・内容・計画】

国が推し進める在宅生活での地域包括ケアシステムの理解を深める。

①保険・医療・福祉を包括する地域システムの中で求められる理念および具体的な作業療法技術について学ぶ。

②就労支援の作業療法、地域包括支援について学ぶ ③症例レポート作成を通して施設の役割や疾患について深める。

【講義内容】

- 1 通所リハビリテーションの作業療法について 応用1
- 2 通所リハビリテーションの作業療法について 応用2
- 3 地域リハビリテーション・地域で働く作業療法
- 4 多職種との連携の必要性
- 5 連携に必要なコミュニケーション
- 6 介護保険法と介護保険サービス（地域包括ケアシステム）
- 7 介護保険サービスの実際
- 8 グループワーク：地域作業療法の評価と治療
- 9 プレゼンテーション：地域作業療法の評価と治療
- 10 認知症の作業療法について（事例検討）1
- 11 認知症の作業療法について（事例検討）2
- 12 認知症の作業療法について（事例検討）3
- 13 就労支援の作業療法について1
- 14 就労支援の作業療法について2
- 15 まとめ

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
383	基礎作業療法学臨床実習Ⅰ	1年 後期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：報告評価点、各レポート課題評価点		

【講義目的・内容・計画】

- 1) 実務家教員の説明を受けながら作業療法の役割を理解する。
- 2) 基本的態度である挨拶の実施、守秘義務の遂行、報告・連絡・相談の遂行等の実施および必要性を理解する
- 3) 実務家教員の説明を受けながら専門知識や技術を理解する。

【実施内容】

- 1 施設における作業療法部門の役割を知り、作業療法士の日々の業務を学ぶ。
- 2 作業療法部門における対象者の作業療法の処方から治療実施までの流れを学ぶ。
- 3 見学を通し専門知識や技術の必要性を理解し、以後の学習目標を明確にする。
- 4 規則を守り責任を持った行動をとることや、対象者や職員に対し節度ある態度で接するなどの基本的態度を身につける。

(挨拶、守秘義務の遂行、報告・連絡・相談の遂行、自己管理等の習得にあたる)

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
384	基礎作業療法学臨床実習Ⅱ	2年 後期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：報告評価点、各レポート課題評価点		

【講義目的・内容・計画】

- 1) 実務家教員の見学や説明を受けながら、通所リハビリテーションの作業療法の役割等を理解する。
- 2) 基本的態度である挨拶の実施、守秘義務の遂行、報告・連絡・相談の遂行等を実施する。
- 3) 実務家教員の見学や説明を受けながら、専門知識や技術を理解する。

【実施内容】

- 1 通所リハビリテーションにおける作業療法部門の役割を知り、作業療法士の日々の業務を学ぶ。
- 2 作業療法部門における対象者の作業療法の支援や地域での生活支援について学ぶ。
- 3 介護保険制度や介護保険サービス、地域包括ケアシステム等について理解を深める
- 4 規則を守り責任を持った行動をとることや、対象者や職員に対し節度ある態度で接するなどの基本的態度を身につける。

(挨拶、守秘義務の遂行、報告・連絡・相談の遂行、自己管理等の習得にあたる)

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
385	作業療法評価学臨床実習	2年 後期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：症例報告評価点		

【講義目的・内容・計画】

- 1) 学内で修得した基本的技能（対象者を理解・把握する為の基礎的な知識・評価技術）について、実務家教員の説明・指導を受けながら実際に評価等を実施する。
- 2) 実務家教員の説明を受けながら、評価から治療計画立案までの作業療法の思考過程を理解し、習得する。

【基本的技能を学ぶ】

- 1 身体面、心理面、社会面等および日常生活の活動を含めた多面的な評価と観察能力を学ぶ。
- 2 本人・家族・他職種から必要な情報を収集する。
- 3 選択した評価手段を、対象者の状態に留意し安全に実施する。

【作業療法の思考過程を学ぶ】

- 1 実務家教員の指導を受けながら、対象者の状態に応じて適切な評価方法を選択し、実施する。
- 2 実務家教員の指導を受けながら、評価結果を整理し、全体像を把握する。
- 3 実務家教員の指導を受けながら、目標設定・治療プログラムが立案できる。

【基本的態度を学ぶ】

- 1 職員・対象者との適切なコミュニケーション能力を養う。
- 2 スケジュール、実務家教員の指示に従って行動し報告・連絡・相談をする能力を養う。

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
386	作業療法総合臨床実習 I	3年 前期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：症例報告評価点、実習前・後実技評価点		

【講義目的・内容・計画】

- 1) 実務家教員の指導のもと、作業療法を実施するための技能や態度を総合的に学ぶ。
- 2) 実務家教員の指導のもと、対象者の把握から治療経過までも総合的な作業療法の思考過程を学ぶ。
- 3) 総合的知識および基本的技能・態度について、実習前にて備えていることを確認し、実習後に評価し判定する。

【基本的技能を学ぶ】

- 1 身体面、心理面、社会面等および日常生活の活動を含めた多面的な評価と観察能力を学ぶ。
- 2 本人・家族・他職種から必要な情報を収集する。
- 3 選択した評価手段を、対象者の状態に留意し安全に実施する。

【作業療法の思考過程を学ぶ】

- 1 実務家教員の指導を受けながら、対象者の状態に応じて適切な評価方法を選択し、実施する。
- 2 実務家教員の指導を受けながら、評価結果を整理し、全体像を把握する。
- 3 実務家教員の指導を受けながら、目標設定・治療プログラムが立案できる。
- 4 治療プログラムの実施し、経過を記録する。また変化に応じた治療プログラム変更について学ぶ。

【基本的臨床技能【治療】を学ぶ】

- 1 治療を行う場所・必要な器具の準備、対象者に即した治療時間等の治療環境を設定する。
- 2 対象者・家族に治療計画・治療手段の説明を行い、治療における安全性を認識し対処する。
- 3 対象者の変化に応じて適切な治療計画を立て、治療手段を対象者に実施する。

【基本的態度の実施】

職員・対象者との適切なコミュニケーションを図り、実務家教員の指示に従って行動し報告・連絡・相談を実施する

授業コード	講義科目名	開講時期	担当教員
387	作業療法総合臨床実習Ⅱ	3年 前期	実務家教員
成績評価の方法	学外：実習参加状況、実習評価点 学内：症例報告評価点、実習前・後実技評価点		

【講義目的・内容・計画】

- 1) 実務家教員の指導のもと、作業療法を実施するための技能や態度を総合的に学ぶ。
- 2) 実務家教員の指導のもと、対象者の把握から治療経過までも総合的な作業療法の思考過程を学ぶ。
- 3) 総合的知識および基本的技能・態度について、実習前にて備えていることを確認し、実習後に評価し判定する。

【基本的技能を学ぶ】

- 1 身体面、心理面、社会面等および日常生活の活動を含めた多面的な評価と観察能力を学ぶ。
- 2 本人・家族・他職種から必要な情報を収集する。
- 3 選択した評価手段を、対象者の状態に留意し安全に実施する。

【作業療法の思考過程を学ぶ】

- 1 実務家教員の指導を受けながら、対象者の状態に応じて適切な評価方法を選択し、実施する。
- 2 実務家教員の指導を受けながら、評価結果を整理し、全体像を把握する。
- 3 実務家教員の指導を受けながら、目標設定・治療プログラムが立案できる。
- 4 治療プログラムの実施し、経過を記録する。また変化に応じた治療プログラム変更について学ぶ。

【基本的臨床技能【治療】を学ぶ】

- 1 治療を行う場所・必要な器具の準備、対象者に即した治療時間等の治療環境を設定する。
- 2 対象者・家族に治療計画・治療手段の説明を行い、治療における安全性を認識し対処する。
- 3 対象者の変化に応じて適切な治療計画を立て、治療手段を対象者に実施する。

【基本的態度の実施】

職員・対象者との適切なコミュニケーションを図り、実務家教員の指示に従って行動し報告・連絡・相談を実施する

